教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0001 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：基礎

主要な配筋の検査に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. コンクリート打込みに先立ち、鉄筋の種類、径、数量、かぶり厚さ、間隔、相互のあき、位置等を確認する。

イ. コンクリート打込み後に、外観から確認できる範囲だけを検査する。

ウ. 鉄筋の種類と径だけを確認し、かぶり厚さや位置は確認しない。

エ. 型枠を撤去した後に配筋検査を行う。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。主要な配筋はコンクリートで隠れる前に、所定の配筋となっているか検査する。

イ：不適切。打込み後では配筋の多くが確認できないため、打込み前に検査する。

ウ：不適切。かぶり、間隔、相互のあき、位置等も重要な確認項目である。

エ：不適切。配筋はコンクリート打込み前に検査する。

総合解説：適切。主要な配筋はコンクリートで隠れる前に、所定の配筋となっているか検査する。 この問題では「主要配筋の検査時期と確認項目を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0002 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：基礎

鉄筋の加工方法として、最も適切なものはどれか。

ア. 曲げ加工しやすいよう赤熱状態まで加熱してから加工するのを原則とする。

イ. 設計図書に指定された寸法・形状に合わせ、原則として常温で正しく加工する。

ウ. 有害な曲がりや損傷のある鉄筋も矯正せずそのまま使用する。

エ. コイル状鉄筋は巻いた状態のまま組み立てる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。原則は常温加工である。

イ：適切。公共建築工事標準仕様書では鉄筋を常温で正しく加工して組み立てるとしている。

ウ：不適切。有害な曲がり、損傷等のある鉄筋は使用しない。

エ：不適切。直線状態にしてから使用する。

総合解説：適切。公共建築工事標準仕様書では鉄筋を常温で正しく加工して組み立てるとしている。 この問題では「鉄筋加工の基本を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0003 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：基礎

鉄筋の交差部を固定する際の溶接の扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア. 交差部はすべて点付け溶接で固定する。

イ. 組立てを早めるため主筋へ自由にアークストライクを起こしてよい。

ウ. 鉄筋には点付け溶接を行わず、アークストライクも起こさない。

エ. 点付け溶接は鉄筋径に関係なく必須である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。鉄筋の交差部は原則として鉄線等で結束し、点付け溶接を行わない。

イ：不適切。アークストライクは禁止されている。

ウ：適切。点付け溶接やアークストライクは鉄筋の材質・性能に悪影響を与えるおそれがあるため行わない。

エ：不適切。標準仕様では点付け溶接を行わない。

総合解説：適切。点付け溶接やアークストライクは鉄筋の材質・性能に悪影響を与えるおそれがあるため行わない。 この問題では「鉄筋への点付け溶接の扱いを理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0004 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：基礎

鉄筋を打込み時にも所定位置へ保持する組立て方法として、最も適切なものはどれか。

ア. 交差部はすべて結束せず、コンクリートの自重で位置を保持させる。

イ. 鋼製スペーサーは型枠に接する部分を無処理のまま使用する。

ウ. スペーサーはかぶり厚さには関係しない。

エ. 継手部分や交差部の要所を径0.8mm以上の鉄線で結束し、スペーサー等で所定位置に保持する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。配筋位置を確保するため要所の結束が必要である。

イ：不適切。型枠に接する部分には防錆処理を行う。

ウ：不適切。スペーサーは所定位置とかぶりを確保するため重要である。

エ：適切。鉄筋は打込み時の荷重等で移動しないよう、結束とスペーサー等により堅固に組み立てる。

総合解説：適切。鉄筋は打込み時の荷重等で移動しないよう、結束とスペーサー等により堅固に組み立てる。 この問題では「スペーサーと結束の基本を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0005 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

異形鉄筋の継手方法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 原則としてD35以上の異形鉄筋には重ね継手を用いない。

イ. D35以上ほど重ね継手を優先して用いる。

ウ. 鉄筋径にかかわらず継手方法はすべて重ね継手に限定される。

エ. 継手方法は施工者が任意に決め、特記を確認する必要がない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。太径鉄筋では重ね継手を原則使用せず、機械式継手や溶接継手等を検討する。

イ：不適切。D35以上の異形鉄筋では重ね継手を原則用いない。

ウ：不適切。ガス圧接、機械式、溶接継手等がある。

エ：不適切。継手の適用は特記等による。

総合解説：適切。太径鉄筋では重ね継手を原則使用せず、機械式継手や溶接継手等を検討する。 この問題では「重ね継手の適用限界を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0006 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

径の異なる2本の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手長さを定める基準として最も適切なものはどれか。

ア. 太い方の鉄筋径だけを基準にする。

イ. 細い方の鉄筋径を基準にする。

ウ. 2本の鉄筋径の平均値を必ず用いる。

エ. 鉄筋径は考慮せず、すべて同一長さとする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。標準仕様では細い方の径を基準とする。

イ：適切。公共建築工事標準仕様書では、径が異なる鉄筋の重ね継手長さは細い鉄筋の径による。

ウ：不適切。そのような規定ではない。

エ：不適切。重ね長さは鉄筋種類・強度・径等に関係する。

総合解説：適切。公共建築工事標準仕様書では、径が異なる鉄筋の重ね継手長さは細い鉄筋の径による。 この問題では「異径鉄筋の重ね継手長さの基準を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0007 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

鋼製スペーサーを型枠に接する位置で使用する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 型枠に接するほど防錆処理は不要になる。

イ. 防錆処理の代わりに鉄筋を型枠へ直接接触させる。

ウ. 型枠に接する部分に防錆処理を施したものを使用する。

エ. スペーサーは作業荷重に耐えなくてもよい。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。型枠に接する部分こそ防錆処理が求められる。

イ：不適切。所定のかぶり厚さを確保できない。

ウ：適切。仕上がり面近傍での発錆や耐久性への悪影響を防ぐためである。

エ：不適切。所定位置を保持し作業荷重等に耐える必要がある。

総合解説：適切。仕上がり面近傍での発錆や耐久性への悪影響を防ぐためである。 この問題では「鋼製スペーサーの防錆処理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0008 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

鉄筋のガス圧接に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 鉄筋径の差にかかわらず自由に圧接できる。

イ. ガス圧接は技能資格者でなくても施工できる。

ウ. 圧接端面は粗く斜めに切断した方がよい。

エ. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は原則として圧接を行わない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。径差には適用制限がある。

イ：不適切。ガス圧接作業は技能資格者が行う。

ウ：不適切。端面は直角で平滑となるよう切断・処理する。

エ：適切。標準仕様では径差7mm超の圧接を原則禁止し、異種鉄筋にも制限がある。

総合解説：適切。標準仕様では径差7mm超の圧接を原則禁止し、異種鉄筋にも制限がある。この問題では「ガス圧接の適用条件を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0009 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

ガス圧接完了後の外観試験について、最も適切なものはどれか。

ア. 全ての圧接部を対象として外観試験を行う。

イ. 抜き取った1%の圧接部だけを外観試験する。

ウ. 外観試験は超音波探傷試験を行った箇所では禁止される。

エ. 圧接作業者本人だけが合否判定を行えばよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。ふくらみ、ずれ、偏心、折れ曲り、焼割れ等を全圧接部について確認する。

イ：不適切。外観試験は全ての圧接部が対象である。

ウ：不適切。外観試験と非破壊試験は目的が異なる。

エ：不適切。試験は所定の技能資格者が行う。

総合解説：適切。ふくらみ、ずれ、偏心、折れ曲り、焼割れ等を全圧接部について確認する。 この問題では「ガス圧接部の外観試験対象を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0010 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：標準

機械式継手の施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 挿入マークは施工後に消すため、最初から付けない。

イ. 鉄筋端部の所定位置に挿入マークを施し、施工完了後の外観試験で挿入状態等を確認する。

ウ. 機械式継手は施工完了後の試験を一切行わない。

エ. 継手部品に有害な損傷があっても強度に影響しないため使用する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。所定位置への挿入確認のため必要である。

イ：適切。挿入マークは継手への必要挿入長さを外観で確認する重要な管理手段である。

ウ：不適切。外観試験等を行う。

エ：不適切。有害な損傷は不合格要因となる。

総合解説：適切。挿入マークは継手への必要挿入長さを外観で確認する重要な管理手段である。 この問題では「機械式継手の挿入管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0011 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：応用

コンクリート打込み直前の配筋検査で、梁主筋の位置ずれと不足かぶりが確認された。最も適切な対応はどれか。

ア. 打込み後に表面モルタルを厚くしてかぶりを補う。

イ. 位置ずれは記録だけ残し、そのまま打ち込む。

ウ. 打込みを開始せず、設計図書に適合するよう配筋・スペーサー等を是正し、再確認してから打ち込む。

エ. 主筋を切断して位置を合わせ、継手の検討は行わない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。構造体内部の鉄筋位置・かぶり不良の根本是正にならない。

イ：不適切。配筋不良を埋め込むことになる。

ウ：適切。コンクリートで隠れる前に所定の配筋とかぶりを確保し、検査結果を反映する必要がある。

エ：不適切。無断切断は構造性能を損なう。

総合解説：適切。コンクリートで隠れる前に所定の配筋とかぶりを確保し、検査結果を反映する必要がある。 この問題では「配筋ずれへの適切な対応を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0012 躯体工事 > 鉄筋工事 ｜ 難易度：応用

ガス圧接部の外観試験で、鉄筋中心軸の偏心量が規定値を超えていることが判明した。標準仕様に照らした対応として最も適切なものはどれか。

ア. ハンマーで叩いて外観だけ整え、そのまま使用する。

イ. コンクリートを増し打ちすれば圧接部の不良は無視できる。

ウ. 不合格記録を削除し、検査済みとして扱う。

エ. その圧接部を切り取って再圧接し、必要な試験を改めて行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。偏心超過は所定の再施工が必要である。

イ：不適切。鉄筋継手の性能不足を補償する方法ではない。

ウ：不適切。措置と再確認の記録が必要である。

エ：適切。偏心量超過は切取り・再圧接の対象であり、措置後も外観試験等で確認する。

総合解説：適切。偏心量超過は切取り・再圧接の対象であり、措置後も外観試験等で確認する。 この問題では「圧接不良の措置を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0013 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：基礎

型枠の基本構成として、最も適切なものはどれか。

ア. 型枠は、せき板と支保工から構成する。

イ. 型枠はせき板だけで構成し、支保工は含まれない。

ウ. 型枠は鉄筋と足場だけで構成する。

エ. 型枠は仕上げ材と防水材だけで構成する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。せき板がコンクリートを所定形状に保持し、支保工が荷重を支持する。

イ：不適切。支保工も型枠を構成する。

ウ：不適切。鉄筋や足場は型枠そのものの構成要素ではない。

エ：不適切。せき板と支保工が基本である。

総合解説：適切。せき板がコンクリートを所定形状に保持し、支保工が荷重を支持する。 この問題では「型枠の構成を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0014 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：基礎

特記がない場合に、せき板として用いるコンクリート型枠用合板の厚さとして標準仕様に適合するものはどれか。

ア. 型枠の軽量化を優先し、3mmの薄板を標準とみなす。

イ. 特記がない場合は、コンクリート型枠用合板として厚さ12mmを用いる。

ウ. 扱いやすさを優先し、6mmの合板を標準とみなす。

エ. 高い剛性を常に必要と考え、30mmの厚板を標準とみなす。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。標準の厚さではなく、型枠として必要な剛性も不足しやすい。

イ：適切。公共建築工事標準仕様書では特記がなければ合板せき板の厚さを12mmとしている。

ウ：不適切。特記がない場合の標準厚さは12mmである。

エ：不適切。特記なしの標準値ではない。

総合解説：適切。公共建築工事標準仕様書では特記がなければ合板せき板の厚さを12mmとしている。 この問題では「合板せき板の標準厚さを理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0015 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：基礎

型枠締付けの方法として、標準仕様上の原則に最も適合するものはどれか。

ア. すべて番線式とする。

イ. 接着剤だけで締め付ける。

ウ. ボルト式とする。

エ. 締付け金物を使用せず、コンクリート側圧に任せる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。番線式は排水桝の類など例外的に認められる。

イ：不適切。所要の型枠強度・形状保持ができない。

ウ：適切。型枠締付けはボルト式を原則とし、排水桝の類では番線式とすることができる。

エ：不適切。変形や漏れを生じる。

総合解説：適切。型枠締付けはボルト式を原則とし、排水桝の類では番線式とすることができる。 この問題では「型枠締付け方法を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0016 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：標準

型枠の構造計画において考慮すべき外力として、最も適切なものはどれか。

ア. コンクリート硬化後の自重だけを考慮し、施工時荷重は無視する。

イ. 風や水平荷重は型枠には作用しないものとする。

ウ. 型枠の変形は仕上りに影響しないため剛性は不要である。

エ. 作業荷重、コンクリートの自重・側圧、打込み時の振動・衝撃、水平荷重等を考慮する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。施工時の側圧・振動・作業荷重等が重要である。

イ：不適切。水平荷重等も考慮する。

ウ：不適切。変形は寸法精度・仕上りに影響する。

エ：適切。型枠は施工中に作用する各種荷重に耐え、所定の仕上りを確保する必要がある。

総合解説：適切。型枠は施工中に作用する各種荷重に耐え、所定の仕上りを確保する必要がある。 この問題では「型枠が負担する荷重を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0017 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：標準

地盤上に型枠支柱を設置する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 地盤を十分締め固め、剛性のある板を敷くなどして支柱の沈下を防止する。

イ. 軟弱地盤ほど細い支柱を直接立てる。

ウ. 支柱の沈下はコンクリート硬化後に自然回復するため対策しない。

エ. 支柱は斜めに立てるほど安定する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。支柱の沈下は型枠の変形や倒壊につながるため、支持地盤を安定させる。

イ：不適切。沈下・転倒の危険が増す。

ウ：不適切。施工中の変形・事故につながる。

エ：不適切。支柱は垂直に立てるのが基本である。

総合解説：適切。支柱の沈下は型枠の変形や倒壊につながるため、支持地盤を安定させる。この問題では「支柱設置時の沈下防止を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0018 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：標準

多層階で型枠支柱を設置する場合の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア. 上下階で必ず半スパンずつずらして配置する。

イ. 上下階の支柱は、可能な限り平面上の同一位置に配置する。

ウ. 上階の支柱位置は下階の構造と無関係に決める。

エ. 支柱の位置は施工後に決める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。そのような原則ではない。

イ：適切。荷重伝達を明確にし、床版等への局部的な不利な作用を抑えるためである。

ウ：不適切。荷重伝達を考慮する必要がある。

エ：不適切。型枠計画段階で配置する。

総合解説：適切。荷重伝達を明確にし、床版等への局部的な不利な作用を抑えるためである。 この問題では「上下階支柱の配置原則を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0019 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：標準

型枠の組立てに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 足場の揺れを型枠で止めるため、必ず相互に剛結する。

イ. 遣方を型枠支保工の一部として使用する。

ウ. 型枠は、足場や遣方等の仮設物と連結させない。

エ. 型枠は仮設物なので組立精度は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。相互の変形影響を避けるため連結しない。

イ：不適切。基準出し用の遣方と型枠支保工は分離する。

ウ：適切。仮設物の変形・振動等が型枠へ伝わることを防ぎ、独立して所要の精度を確保する。

エ：不適切。構造体の形状・寸法に直結する。

総合解説：適切。仮設物の変形・振動等が型枠へ伝わることを防ぎ、独立して所要の精度を確保する。 この問題では「型枠と足場等の分離を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0020 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：標準

柱・梁以外で開口補強が不要な箇所に設ける配管用スリーブについて、標準仕様上、紙チューブを使用できる条件として最も適切なものはどれか。

ア. 柱主筋を切断する位置で、径500mmの場合。

イ. 梁の中央部で径350mmの場合。

ウ. 開口補強が必要な耐力壁で、径250mmの場合。

エ. スリーブ径が200mm以下である場合。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。構造上重要な柱・梁では条件外である。

イ：不適切。梁は対象外であり、径条件も超える。

ウ：不適切。開口補強不要かつ200mm以下等の条件を満たさない。

エ：適切。柱・梁以外、開口補強不要、かつ径200mm以下の部分では紙チューブを用いることができる。

総合解説：適切。柱・梁以外、開口補強不要、かつ径200mm以下の部分では紙チューブを用いることができる。 この問題では「スリーブ材料の適用条件を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0021 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：応用

コンクリート打込み直前、梁型枠の一部に開きと支柱の沈下が確認された。最も適切な対応はどれか。

ア. 打込みを中止し、型枠・支保工を是正して組立状態を再確認し、必要な報告後に打ち込む。

イ. 打込み速度を上げて型枠が開く前に終える。

ウ. 開いた部分を作業員が手で押さえながら打ち込む。

エ. 支柱沈下は硬化後に補修すればよいのでそのまま打ち込む。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。打込み前に型枠の組立状態を確認し、変形・漏れ・支保工不良を是正する必要がある。

イ：不適切。側圧増加や事故につながる。

ウ：不適切。重大な安全リスクがある。

エ：不適切。形状・寸法・安全に影響するため事前是正が必要である。

総合解説：適切。打込み前に型枠の組立状態を確認し、変形・漏れ・支保工不良を是正する必要がある。 この問題では「打込み前の型枠確認を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0022 躯体工事 > 型枠工事 ｜ 難易度：応用

型枠の取外し時期を決める際の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア. 打込み翌日になれば部位に関係なく全て取り外す。

イ. 所定の最小存置期間やコンクリート強度等を確認し、構造体に有害な影響を与えない時期に取り外す。

ウ. 型枠は長く置くほどよいので工事完成まで外さない。

エ. コンクリート強度は確認せず、型枠表面の色だけで判断する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。部位・温度・セメント・強度条件等によって異なる。

イ：適切。早すぎる取外しは変形・ひび割れ・たわみ等の原因となるため、所定条件を満たして判断する。

ウ：不適切。工程・仕上げ等との調整が必要で、所定条件を満たせば取外す。

エ：不適切。強度・存置期間等の客観条件が必要である。

総合解説：適切。早すぎる取外しは変形・ひび割れ・たわみ等の原因となるため、所定条件を満たして判断する。 この問題では「型枠取外しの判断原則を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0023 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：基礎

普通の条件で、コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 外気温に関係なく240分以内とする。

イ. 25℃を超える場合の方が長く、180分以内とする。

ウ. 外気温25℃以下では120分以内、25℃を超える場合は90分以内を原則とする。

エ. 時間管理は不要で、スランプだけ確認すればよい。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。標準仕様では外気温で120分・90分に区分する。

イ：不適切。高温時は短く90分以内である。

ウ：適切。気温が高いほど凝結が進みやすいため、許容時間が短く設定されている。

エ：不適切。時間も品質管理上重要である。

総合解説：適切。気温が高いほど凝結が進みやすいため、許容時間が短く設定されている。この問題では「練混ぜから打込み終了までの時間を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0024 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：基礎

レディーミクストコンクリートの運搬中の取扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア. スランプが低下したら作業員の判断で水を加える。

イ. 運搬中はドラムを停止し、材料分離を促す。

ウ. 納入書は確認せず、見た目だけで受け入れる。

エ. 運搬に当たり、コンクリートへ水を加えない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。安易な加水は禁止である。

イ：不適切。荷卸し前には均質化のため適切に撹拌する。

ウ：不適切。納入条件の確認が必要である。

エ：適切。現場での安易な加水は水セメント比や強度・耐久性に悪影響を与える。

総合解説：適切。現場での安易な加水は水セメント比や強度・耐久性に悪影響を与える。 この問題では「運搬時の加水禁止を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0025 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：標準

同一のコンクリート打込み区画に関する計画として、最も適切なものはどれか。

ア. 原則として同一打込み区画に2つ以上のレディーミクストコンクリート工場のコンクリートを打ち込まない。

イ. 供給が早ければ何工場のコンクリートでも混在させる。

ウ. 工場ごとに色が違えば混在してよい。

エ. 同一区画は必ず3工場以上から供給する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。品質の一体性・管理の明確化を図るため、同一区画で複数工場を混在させない。

イ：不適切。標準仕様の原則に反する。

ウ：不適切。色は判断基準ではない。

エ：不適切。そのような規定はなく、むしろ混在を避ける。

総合解説：適切。品質の一体性・管理の明確化を図るため、同一区画で複数工場を混在させない。 この問題では「同一打込み区画の供給元管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0026 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：標準

壁・柱、梁、スラブを連続して打ち込む場合の一般的な手順として、最も適切なものはどれか。

ア. スラブを最初に打ち、最後に柱を下から充填する。

イ. 壁・柱のコンクリートの沈みが落ち着いた後に梁を打ち込み、梁の沈みが落ち着いた後にスラブを打ち込む。

ウ. 柱を打ち終えた直後に沈みを待たず全て同時に仕上げる。

エ. 梁とスラブは必ず別日に打ち継ぐ。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。標準的な打込み順序と異なる。

イ：適切。沈みを考慮して順序を管理し、取合い部のひび割れ等を抑える。

ウ：不適切。沈みが落ち着く時間を考慮する。

エ：不適切。標準仕様では一体となるよう連続打込みを基本とする場合がある。

総合解説：適切。沈みを考慮して順序を管理し、取合い部のひび割れ等を抑える。 この問題では「梁・スラブの打込み順序を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0027 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：標準

コンクリートの打継ぎ面の処理として、最も適切なものはどれか。

ア. レイタンスを残したまま新しいコンクリートを打ち重ねる。

イ. 打継ぎ面に水をためておく。

ウ. レイタンスやぜい弱なコンクリートを除去し、健全なコンクリートを露出させる。

エ. 打継ぎ面は油を塗って付着を防ぐ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。付着・一体性を損なう。

イ：不適切。打継ぎ面に水がたまらないようにする。

ウ：適切。打継ぎ部の一体性を確保するため、弱い表層を除去する。

エ：不適切。付着を阻害する。

総合解説：適切。打継ぎ部の一体性を確保するため、弱い表層を除去する。 この問題では「打継ぎ面の処理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0028 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：標準

コンクリート棒形振動機の使用方法として、最も適切なものはどれか。

ア. 振動機を水平に寝かせ、コンクリートを長距離横流しする。

イ. 振動機を型枠や鉄筋に強く当て続けて移動させる。

ウ. 引き抜くときは急に抜き、できた穴はそのままにする。

エ. 各層ごとにほぼ垂直に挿入し、先端を下層へ入れ、引抜き時は穴を残さないよう徐々に引き抜く。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。材料分離や配筋・型枠への影響を招く。

イ：不適切。型枠・配筋の移動や損傷につながる。

ウ：不適切。穴を残さないよう徐々に引き抜く。

エ：適切。上下層を一体化し、密実なコンクリートとするための基本である。

総合解説：適切。上下層を一体化し、密実なコンクリートとするための基本である。 この問題では「棒形振動機の使用方法を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0029 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：応用

外気温30℃で、練混ぜ開始から打込み終了まで100分を要する見込みとなった。特別な措置や承諾はない。最も適切な判断はどれか。

ア. 標準の90分以内を超えるため、そのまま施工せず、運搬・打込み計画の見直し等を行う。

イ. 120分以内なので何も問題ない。

ウ. 時間は強度に関係しないので無視する。

エ. 現場で水を加えて柔らかくすれば時間超過を補える。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。25℃を超える場合は原則90分以内であり、時間超過を前提に施工してはならない。

イ：不適切。120分は外気温25℃以下の場合の原則である。

ウ：不適切。凝結・ワーカビリティー等に影響する。

エ：不適切。加水は品質を損なうため行わない。

総合解説：適切。25℃を超える場合は原則90分以内であり、時間超過を前提に施工してはならない。 この問題では「高温時の打込み時間管理を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0030 躯体工事 > コンクリート工事 ｜ 難易度：応用

普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートの打込み後、寒気による初期凍害のおそれがある。標準仕様に沿う対応として最も適切なものはどれか。

ア. 打込み翌日からコンクリート温度を0℃以下にして養生する。

イ. 寒気から保護し、原則として打込み後5日間以上、コンクリート温度を2℃以上に保つ。

ウ. 早強ポルトランドセメントより普通ポルトランドセメントの方が必要期間は短い。

エ. 寒気への保護は不要で、表面が乾けば養生を終える。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。初期凍害のおそれがある。

イ：適切。初期強度発現前の凍結を防ぐため、所定期間の温度確保が必要である。

ウ：不適切。普通は原則5日以上、早強は3日以上である。

エ：不適切。温度と湿潤の管理が必要である。

総合解説：適切。初期強度発現前の凍結を防ぐため、所定期間の温度確保が必要である。 この問題では「初期養生の温度管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0031 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：基礎

鉄骨製作における工作図に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 工作図は建方完了後に作成する。

イ. 工作図では接合部の詳細を省略するのが原則である。

ウ. ボルトの縁端距離、間隔、ゲージ等を設計図書・特記に基づき明確にし、製作の基準とする。

エ. 現寸図は必要に応じて作成してはならない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。製作前に必要である。

イ：不適切。接合部は重要な情報である。

ウ：適切。工作図は加工・組立・接合を正確に行うための重要な製作資料である。

エ：不適切。必要に応じて現寸図等を作成する。

総合解説：適切。工作図は加工・組立・接合を正確に行うための重要な製作資料である。 この問題では「鉄骨製作の工作図を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0032 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：基礎

鋼材の切断に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 切断面は材軸に対して意図的に大きく斜めとする。

イ. ガス切断後のスラグは接合強度を高めるため残す。

ウ. 切断面の欠けやまくれは製作精度に影響しない。

エ. 切断面は原則として材軸に垂直とし、有害な凹凸、まくれ、切欠き、スラグ付着等がないようにする。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。原則は材軸に垂直である。

イ：不適切。スラグ等は除去する。

ウ：不適切。有害な欠陥は認めない。

エ：適切。切断精度は部材寸法と接合品質に直結する。

総合解説：適切。切断精度は部材寸法と接合品質に直結する。 この問題では「鋼材切断の基本を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0033 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：基礎

高力ボルトセットの取扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア. 未開封の状態で搬入し、使用直前に包装を開封する。

イ. 搬入時に全て開封し、屋外でばら積みする。

ウ. 締付け機器の調整に用いたボルトを本接合へ再使用する。

エ. 使用しなかった開封品は雨ざらしで保管する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。錆、汚れ、ねじ部状態等の品質を保つため、未開封で管理する。

イ：不適切。品質劣化や異物付着につながる。

ウ：不適切。試験・調整に用いたものは再使用しない。

エ：不適切。再包装等を行い適切に保管する。

総合解説：適切。錆、汚れ、ねじ部状態等の品質を保つため、未開封で管理する。 この問題では「高力ボルトの保管を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0034 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：基礎

高力ボルトの本接合における締付けの基本順序として、最も適切なものはどれか。

ア. 本締め、マーキング、一次締めの順に行う。

イ. 一次締め、マーキング、本締めの順に行う。

ウ. マーキングは本締め後だけ行い、一次締めは省略する。

エ. 仮ボルトを使用せず、板の密着確認もしない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。順序が逆である。

イ：適切。締付け状態を確認可能にするため、一次締め後にマーキングして本締めを行う。

ウ：不適切。一次締め後にマーキングする。

エ：不適切。本接合前に仮ボルトで板を密着させる。

総合解説：適切。締付け状態を確認可能にするため、一次締め後にマーキングして本締めを行う。 この問題では「高力ボルト締付けの基本順序を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0035 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

高力ボルト摩擦接合部の組立て前に、摩擦面へ油や塗料、じんあいが付着していた。最も適切な対応はどれか。

ア. 油を追加してボルトが締めやすくなるようにする。

イ. 塗料で摩擦面を厚く覆ってから組み立てる。

ウ. 摩擦力を低減する付着物を取り除いてから組み立てる。

エ. 付着物の有無は高力ボルト接合性能に影響しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。摩擦係数を低下させる。

イ：不適切。所定の摩擦面性能を損なう。

ウ：適切。摩擦面の状態は接合性能に直結するため、油・塗料・じんあい等を除去する。

エ：不適切。重要な品質管理項目である。

総合解説：適切。摩擦面の状態は接合性能に直結するため、油・塗料・じんあい等を除去する。 この問題では「摩擦接合面の管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0036 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

高力ボルト接合部で、材厚差等により1mmを超える肌すきが生じている。標準仕様上の対応として最も適切なものはどれか。

ア. そのまま本締めしてボルト軸力だけで無理に密着させる。

イ. 肌すき部分へ木片を挟む。

ウ. ナットを外して接合部を未締結のまま使用する。

エ. フィラープレートを入れて調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。接合部の変形・軸力不良等を招く。

イ：不適切。構造接合に不適切である。

ウ：不適切。所定の接合性能が得られない。

エ：適切。1mmを超える肌すきはフィラープレートで調整し、接合面を適切に密着させる。

総合解説：適切。1mmを超える肌すきはフィラープレートで調整し、接合面を適切に密着させる。 この問題では「肌すきへの対応を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0037 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

高力ボルト接合で、ボルト頭部またはナットと接合部材面の傾斜が1/20以上ある場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 勾配座金を使用する。

イ. 平座金を重ねて無理に傾斜を吸収する。

ウ. 傾斜は締付け性能に影響しないため無視する。

エ. ボルトを曲げて座面に合わせる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。座面の傾斜を補正して適切な締付け状態を確保する。

イ：不適切。所定の勾配座金を用いる。

ウ：不適切。ボルト軸力や座面状態に悪影響を与える。

エ：不適切。ボルトを損傷させる。

総合解説：適切。座面の傾斜を補正して適切な締付け状態を確保する。 この問題では「勾配座金の使用条件を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0038 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

1群の高力ボルトを締め付ける順序として、最も適切なものはどれか。

ア. 周辺から中央に向かうのを原則とする。

イ. ボルト群の中央から周辺に向かって締め付ける。

ウ. 毎回ランダムな順序で締める。

エ. 同一ボルトだけを繰り返し締め、他は最後に一括する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。標準仕様では中央から周辺へ行う。

イ：適切。板の密着を均等に進め、接合面のずれや偏りを抑える。

ウ：不適切。締付け順序を管理する。

エ：不適切。均等な締付けにならない。

総合解説：適切。板の密着を均等に進め、接合面のずれや偏りを抑える。 この問題では「ボルト群の締付け順序を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0039 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

トルシア形高力ボルトの本締め方法として、最も適切なものはどれか。

ア. ピンテールを本締め前に切断してから締める。

イ. 普通のペンチだけでナットを締める。

ウ. 専用レンチを用い、ピンテールが破断するまで締め付ける。

エ. ピンテールは破断しない方が合格である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。ピンテール破断を締付け管理に利用する。

イ：不適切。専用レンチを用いる。

ウ：適切。ピンテール破断は所定の締付けが行われたことを確認する重要な指標となる。

エ：不適切。締付け後は破断していることを確認する。

総合解説：適切。ピンテール破断は所定の締付けが行われたことを確認する重要な指標となる。 この問題では「トルシア形高力ボルトの本締めを理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0040 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

同一接合部で高力ボルト接合と溶接接合を併用する場合の施工順序として、最も適切なものはどれか。

ア. 必ず溶接を先に行い、冷却前に高力ボルトを本締めする。

イ. 両者の施工順序は品質に一切影響しない。

ウ. 高力ボルトは仮締めのまま溶接後も本締めしない。

エ. 高力ボルト接合を先に行い、その後の溶接では接合面の変形やボルトへの入熱影響を考慮する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。標準仕様の順序と異なり、熱影響も問題となる。

イ：不適切。変形や入熱の影響を考慮する。

ウ：不適切。所定の本接合が必要である。

エ：適切。標準仕様では高力ボルト接合を先行させる。

総合解説：適切。標準仕様では高力ボルト接合を先行させる。 この問題では「高力ボルトと溶接の併用順序を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0041 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：標準

鉄骨溶接の着手前の処置として、最も適切なものはどれか。

ア. 水分、油、スラグ、塗料、錆など溶接に支障となるものを除去する。

イ. 油膜を残すことでアークを安定させる。

ウ. 錆や塗料は溶接金属に溶け込むため除去しない。

エ. 濡れた母材ほど冷却されるため品質が向上する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。溶接欠陥の防止と健全な溶込み確保のため、溶接部を清浄にする。

イ：不適切。油は溶接欠陥の原因となる。

ウ：不適切。支障となる付着物は除去する。

エ：不適切。濡れた母材での溶接は原則行わない。

総合解説：適切。溶接欠陥の防止と健全な溶込み確保のため、溶接部を清浄にする。 この問題では「溶接部の清掃を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0042 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：応用

作業場所の気温が−7℃で、特別な保温設備はない。鉄骨の現場溶接を行う計画として、最も適切なものはどれか。

ア. 母材が乾いていれば−7℃でも無条件に溶接できる。

イ. 標準仕様上、−5℃未満では溶接を行わないため、条件を改善するまで施工しない。

ウ. 溶接電流を大きくすれば気温制限は無視できる。

エ. 降雪中でも母材が見えればそのまま溶接する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。気温条件に抵触する。

イ：適切。−5℃未満は溶接禁止であり、−5℃以上5℃以下では所定範囲の加熱等が必要となる。

ウ：不適切。標準仕様の温度条件を満たす必要がある。

エ：不適切。降雨・降雪等で母材が濡れている場合も原則施工しない。

総合解説：適切。−5℃未満は溶接禁止であり、−5℃以上5℃以下では所定範囲の加熱等が必要となる。 この問題では「低温時の溶接可否を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0043 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：応用

鉄骨溶接の品質管理で、確認時期と確認項目の組合せとして最も適切なものはどれか。

ア. 完了後の塗装色だけ確認すればよい。

イ. 着手前の確認は不要で、内部欠陥だけを確認する。

ウ. 着手前に開先・ルート間隔等、作業中に溶接順序・電流・入熱等、完了後に外観・寸法・内部欠陥等を確認する。

エ. 作業中の電流や入熱は記録せず、外観が良ければ合格とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。溶接条件や欠陥確認が必要である。

イ：不適切。開先や組立状態等の事前確認が重要である。

ウ：適切。溶接品質は事後検査だけではなく、着手前・作業中・完了後の各段階で管理する。

エ：不適切。施工条件の管理も重要である。

総合解説：適切。溶接品質は事後検査だけではなく、着手前・作業中・完了後の各段階で管理する。 この問題では「溶接確認の段階管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0044 鉄骨・基礎 > 鉄骨工事 ｜ 難易度：応用

鉄骨柱脚のアンカーボルト設置について、最も適切な施工管理はどれか。

ア. コンクリート打込み中に自由に動くよう固定しない。

イ. 建方時に柱側を削って合わせる前提で位置精度を確認しない。

ウ. 基準墨を使わず目視だけで心出しする。

エ. 型板を用いて基準墨に正しく合わせ、適切な機器で心出しを行い、所定位置に確実に固定する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。位置ずれが生じる。

イ：不適切。アンカーボルトを正確に設置する。

ウ：不適切。基準墨と測定機器等で正確に行う。

エ：適切。柱脚精度は建方精度に直結するため、アンカーボルトの位置・高さ・固定を事前に厳密に管理する。

総合解説：適切。柱脚精度は建方精度に直結するため、アンカーボルトの位置・高さ・固定を事前に厳密に管理する。 この問題では「アンカーボルト設置管理を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0045 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：基礎

試験杭に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 本杭に先立ち施工し、その結果により本杭施工の管理基準等を定める。

イ. 本杭が全て完成した後に試験杭を施工する。

ウ. 試験杭の結果は本杭の管理に使用しない。

エ. 試験杭は本杭と異なる施工設備を使用するのが原則である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。試験杭で施工条件・支持層・管理方法等を確認し、本施工へ反映する。

イ：不適切。試験杭は本杭に先立つ。

ウ：不適切。本杭の管理基準等を定めるために使う。

エ：不適切。試験杭の施工設備は本杭に用いるものを使用する。

総合解説：適切。試験杭で施工条件・支持層・管理方法等を確認し、本施工へ反映する。 この問題では「試験杭の目的と順序を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0046 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：基礎

杭の載荷試験の種類として、標準仕様に示されるものはどれか。

ア. 透水試験だけを行う。

イ. 鉛直載荷試験または水平載荷試験。

ウ. 塗膜厚試験だけを行う。

エ. コンクリートのスランプ試験だけを行う。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。杭載荷試験の分類ではない。

イ：適切。杭の支持性能等を確認する試験として鉛直・水平載荷試験がある。

ウ：不適切。杭の支持性能確認とは無関係である。

エ：不適切。杭載荷試験の代替ではない。

総合解説：適切。杭の支持性能等を確認する試験として鉛直・水平載荷試験がある。 この問題では「杭載荷試験の種類を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0047 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：基礎

杭施工時の位置管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 杭心は着工前に一度確認すれば、その後は確認しない。

イ. 杭心のずれは基礎で必ず吸収できるため無視する。

ウ. 施工中、随時、杭心の位置を確認する。

エ. 杭心は目測だけで管理し、測量は行わない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。施工中も随時確認する。

イ：不適切。所定位置の確保が必要である。

ウ：適切。杭位置のずれは基礎・上部構造への影響が大きいため、施工中に継続確認する。

エ：不適切。所定の位置を正確に確認する。

総合解説：適切。杭位置のずれは基礎・上部構造への影響が大きいため、施工中に継続確認する。 この問題では「施工中の杭心確認を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0048 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：標準

予定の掘削深さに達しても支持層を確認できない場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 予定深さに達したので支持層未確認のまま施工完了とする。

イ. 杭頭を短く切って高さだけ合わせる。

ウ. 支持層の記録を作成せず、施工済みとして扱う。

エ. そのまま施工を進めず、監督職員と協議する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。所定の支持性能が確認できない。

イ：不適切。支持層の問題は解決しない。

ウ：不適切。施工記録と協議が必要である。

エ：適切。設計前提と異なる地盤条件であり、支持性能確保のため協議が必要である。

総合解説：適切。設計前提と異なる地盤条件であり、支持性能確保のため協議が必要である。 この問題では「支持層未確認時の対応を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0049 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：標準

地盤の平板載荷試験を行う際の留意点として、最も適切なものはどれか。

ア. 載荷板を設置する地盤を、掘削や載荷装置等で乱さないようにする。

イ. 試験前に地盤をほぐして軟らかくする。

ウ. 載荷板直下へ砕石を厚く敷いて地盤条件を変える。

エ. 試験位置は設計図書に関係なく任意に選ぶ。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。試験地盤を乱すと本来の支持特性を正しく評価できない。

イ：不適切。原地盤状態を乱さないことが重要である。

ウ：不適切。試験対象地盤の性状が変わる。

エ：不適切。位置等は特記・計画に基づく。

総合解説：適切。試験地盤を乱すと本来の支持特性を正しく評価できない。 この問題では「地盤載荷試験の地盤保全を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0050 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：標準

杭施工中に掘削孔壁の崩落や杭の傾斜などの異常が生じた場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 異常は地中で見えなくなるため記録せず施工を続ける。

イ. 施工を続行せず、所定性能への影響を評価し、監督職員と協議する。

ウ. 傾斜した杭を上部構造で強制的に合わせる。

エ. 孔壁崩落時はコンクリート量を減らす。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。重大な品質不良につながる。

イ：適切。異常時は原因・影響を確認し、必要な是正方法を決める。

ウ：不適切。杭・基礎全体の構造性能を確認する必要がある。

エ：不適切。品質・断面欠損の原因となる。

総合解説：適切。異常時は原因・影響を確認し、必要な是正方法を決める。 この問題では「杭施工時の異常への対応を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0051 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：標準

地業工事の施工完了後に提出する報告書の内容として、最も適切なものはどれか。

ア. 完成写真だけあれば施工記録は不要である。

イ. 使用した施工機械は品質に関係しないため記録しない。

ウ. 工事概要、材料・施工機械・工法、工程、写真、試験杭・各種試験・施工記録等を整理する。

エ. 試験杭の結果は本杭と関係がないため報告しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。施工条件・試験・工程等の記録が必要である。

イ：不適切。工法・施工機械は重要な記録項目である。

ウ：適切。地中で不可視となる工事ほど、施工記録と試験結果の保存が重要である。

エ：不適切。試験杭記録も報告書に含む。

総合解説：適切。地中で不可視となる工事ほど、施工記録と試験結果の保存が重要である。この問題では「施工記録の内容を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0052 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：標準

既製コンクリート杭地業の施工体制として、最も適切なものはどれか。

ア. 施工管理技術者は配置してはならない。

イ. 杭施工は記録不要なので管理者も不要である。

ウ. 施工管理技術者は完成後だけ現場へ来ればよい。

エ. 施工管理技術者を配置し、所定の施工管理を行う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。配置が求められる。

イ：不適切。品質確保には専門的な施工管理が必要である。

ウ：不適切。施工過程の管理が重要である。

エ：適切。標準仕様では既製コンクリート杭地業に施工管理技術者を配置するとしている。

総合解説：適切。標準仕様では既製コンクリート杭地業に施工管理技術者を配置するとしている。 この問題では「既製杭の施工管理技術者配置を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0053 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：応用

杭が予定深度に到達したが、支持層への所定の根入れ長さを確認できない。最も適切な対応はどれか。

ア. 施工条件を再確認し、監督職員と協議して所定の支持性能を確保できる措置を決める。

イ. 予定深度に達しているので根入れ確認は不要とする。

ウ. 杭頭高さだけ調整して完成とする。

エ. 記録上だけ根入れ済みとして数値を書き換える。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。深度だけでなく支持層への根入れ・支持性能の確認が必要である。

イ：不適切。支持層への所定根入れは重要な管理条件である。

ウ：不適切。支持性能の問題は解決しない。

エ：不適切。品質記録の改ざんであり許されない。

総合解説：適切。深度だけでなく支持層への根入れ・支持性能の確認が必要である。 この問題では「支持層への根入れ不足を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0054 鉄骨・基礎 > 杭・基礎工事 ｜ 難易度：応用

市街地で杭工事を行う。騒音・振動、排土、排水、油滴の周辺影響を抑える施工計画として、最も適切なものはどれか。

ア. 排土は敷地外へ流出させれば現場内管理が不要になる。

イ. 騒音・振動の低減、飛散防止養生、排土・排水の適切な処理を組み合わせ、関係法令と周辺条件に応じて管理する。

ウ. 油滴は少量なら地盤へ浸透させる。

エ. 騒音・振動は杭工事では避けられないため対策不要とする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。関係法令に基づき適切に処理する。

イ：適切。地業工事は構造性能だけでなく、近隣環境・排出物管理も含めて施工計画を立てる。

ウ：不適切。飛散・漏出を防止する。

エ：不適切。影響を極力防止する。

総合解説：適切。地業工事は構造性能だけでなく、近隣環境・排出物管理も含めて施工計画を立てる。 この問題では「地業工事の近隣・環境対策を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0055 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：基礎

鉄骨の耐火被覆工法として、標準仕様に示されるものの組合せとして最も適切なものはどれか。

ア. 防水シート張りだけ。

イ. 木製羽目板張りだけ。

ウ. 耐火材吹付け、耐火板張り、耐火材巻付け、ラス張りモルタル塗り、耐火塗料など。

エ. 床ワックス塗布だけ。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。防水工法であり耐火被覆の分類ではない。

イ：不適切。標準的な鉄骨耐火被覆ではない。

ウ：適切。耐火被覆には複数の工法があり、種類・材料・工法等は特記による。

エ：不適切。耐火性能を確保できない。

総合解説：適切。耐火被覆には複数の工法があり、種類・材料・工法等は特記による。 この問題では「耐火被覆の種類を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0056 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：基礎

耐火被覆の品質に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 付着強度は不要で、見た目だけ整っていればよい。

イ. 耐火性能は施工者が現場で任意に決める。

ウ. 被覆厚さは部材ごとに自由に減らしてよい。

エ. 所定の耐火性能を有し、取付け強度・付着強度が十分であることが必要である。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。十分な取付け・付着強度が必要である。

イ：不適切。耐火性能は特記・認定等に基づく。

ウ：不適切。所定の性能を満たす仕様が必要である。

エ：適切。被覆が所定性能を持っていても、脱落・剥離すれば耐火性能を維持できない。

総合解説：適切。被覆が所定性能を持っていても、脱落・剥離すれば耐火性能を維持できない。 この問題では「耐火被覆の基本要求を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0057 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：標準

耐火被覆の施工で見落としやすい部位の処理として、最も適切なものはどれか。

ア. 貫通孔部、デッキプレートと梁の隙間、主要部材の取付け金物等も適切に被覆する。

イ. 梁フランジ中央だけ被覆し、取付け金物は露出させる。

ウ. デッキと梁の隙間は耐火上まったく影響しない。

エ. 貫通孔周辺は被覆を意図的に除去する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。局部的な未被覆部は熱が鋼材へ伝わる弱点となる。

イ：不適切。取付け金物等も適切に処理する。

ウ：不適切。適切な被覆が必要である。

エ：不適切。耐火上の弱点となる。

総合解説：適切。局部的な未被覆部は熱が鋼材へ伝わる弱点となる。 この問題では「貫通部等の被覆を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0058 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：標準

耐火材吹付けの材料・工法として、最も適切なものはどれか。

ア. 現場で配合した材料なら認定の有無に関係なく使用できる。

イ. 建築基準法に基づき認定を受けたものを用いる。

ウ. 耐火材は施工者の経験だけで厚さを決める。

エ. 防火認定は仕上げ色だけを対象とする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。認定等に基づく必要がある。

イ：適切。耐火性能は認定された材料・工法に基づき確保する。

ウ：不適切。認定仕様や特記に従う。

エ：不適切。材料・工法の耐火性能を対象とする。

総合解説：適切。耐火性能は認定された材料・工法に基づき確保する。 この問題では「吹付け耐火材の認定を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0059 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：標準

耐火材を吹き付ける際の施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 飛散は性能に関係しないため養生しない。

イ. 完成した設備機器へ直接吹き付けてから清掃する。

ウ. 十分に養生し、周辺への材料飛散防止に努める。

エ. 吹付け中は換気・周辺管理を行わない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。周辺への飛散防止が必要である。

イ：不適切。適切な養生が必要である。

ウ：適切。吹付け材の飛散は周辺仕上げ・設備への汚染や作業環境悪化につながる。

エ：不適切。安全・環境に配慮する。

総合解説：適切。吹付け材の飛散は周辺仕上げ・設備への汚染や作業環境悪化につながる。この問題では「吹付け時の飛散防止を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0060 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：標準

耐火板張りや耐火材巻付けの施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 現場で留付け間隔を自由に広げて材料を節約する。

イ. 異なる製品の部材を任意に混用する。

ウ. 施工後の欠損は耐火性能に影響しない。

エ. 認定・規定された材料と工法を用い、その他の施工条件は製造所仕様等に従う。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。認定・製造所仕様に従う。

イ：不適切。所定のシステム仕様を守る必要がある。

ウ：不適切。欠損・隙間は補修が必要である。

エ：適切。認定仕様から外れる施工は所定耐火性能を保証できない。

総合解説：適切。認定仕様から外れる施工は所定耐火性能を保証できない。 この問題では「耐火板・巻付け材の施工仕様を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0061 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：応用

設備工事後の確認で、鉄骨梁の耐火被覆が一部欠損し、鋼材が露出していた。最も適切な対応はどれか。

ア. 所定の認定仕様・施工要領に従って欠損部を補修し、必要な被覆厚・連続性を再確認する。

イ. 露出部が小さければ塗装だけして完了とする。

ウ. 天井で隠れるため補修しない。

エ. 周囲の耐火被覆も全て撤去して鋼材を露出させる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。鋼材露出は耐火上の弱点となるため、所定性能を回復させる必要がある。

イ：不適切。一般塗装では耐火被覆の代替にならない。

ウ：不適切。見え隠れに関係なく耐火性能が必要である。

エ：不適切。耐火性能を失う。

総合解説：適切。鋼材露出は耐火上の弱点となるため、所定性能を回復させる必要がある。この問題では「耐火被覆欠損への対応を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0062 鉄骨・基礎 > 耐火被覆 ｜ 難易度：応用

耐火塗料を採用した鉄骨で、所定の耐火性能を確保するための管理として最も適切なものはどれか。

ア. 色が均一なら膜厚を測らなくても耐火性能は保証される。

イ. 認定された材料・工法と製造所仕様に従い、下地状態、塗付量・膜厚、乾燥、損傷の有無等を管理する。

ウ. 下地に油が付着したまま塗れば付着性が高まる。

エ. 認定仕様より薄く塗るほど耐火時間が長くなる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。色だけでは必要膜厚を確認できない。

イ：適切。耐火塗料は規定膜厚等によって性能を発揮するため、塗装工程と品質確認が重要である。

ウ：不適切。付着不良につながる。

エ：不適切。必要性能を満たす所定仕様が必要である。

総合解説：適切。耐火塗料は規定膜厚等によって性能を発揮するため、塗装工程と品質確認が重要である。 この問題では「耐火塗料の施工管理を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0063 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：基礎

防水工事を行わないのが原則となる条件として、最も適切なものはどれか。

ア. 下地が十分乾燥し、天候が安定している場合。

イ. 材料・工法に適した気温・湿度が確保されている場合。

ウ. 降雨・降雪が予想される、下地乾燥が不十分、著しい低温、強風・高湿など防水に悪影響を及ぼすおそれがある場合。

エ. 下地処理が完了し監督職員の検査を受けられる場合。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。通常は施工に適した条件である。

イ：不適切。施工に適した条件である。

ウ：適切。防水層の接着・硬化・品質に悪影響を与える気象・下地条件では施工を避ける。

エ：不適切。施工準備として適切である。

総合解説：適切。防水層の接着・硬化・品質に悪影響を与える気象・下地条件では施工を避ける。 この問題では「防水工事の施工条件を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0064 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：基礎

防水層の基本要求品質として、最も適切なものはどれか。

ア. 平場だけ漏水しなければ取合い部は未処理でもよい。

イ. 防水層は仕上り寸法を確認しなくてよい。

ウ. 施工後は機材を直接置いて防水層を傷つけてもよい。

エ. 所定の形状・寸法と仕上りを有し、取合い部を含め漏水がないこと。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。取合い部を含め漏水がないことが必要である。

イ：不適切。所定の形状・寸法が必要である。

ウ：不適切。施工後の損傷防止が必要である。

エ：適切。防水は平場だけでなく立上り・貫通部・端部等の取合いまで連続性が重要である。

総合解説：適切。防水は平場だけでなく立上り・貫通部・端部等の取合いまで連続性が重要である。 この問題では「防水層の基本要求を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0065 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：基礎

アスファルト防水の説明として、最も適切なものはどれか。

ア. 溶融アスファルトとアスファルトルーフィング類を交互に積層して防水層を形成する工法である。

イ. 合板を1枚張るだけの工法である。

ウ. モルタルを無筋で厚く塗るだけの工法である。

エ. 鋼板を溶接するだけの工法である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。標準仕様のアスファルト防水は積層により防水層を形成する。

イ：不適切。防水層の構成ではない。

ウ：不適切。アスファルト防水の説明ではない。

エ：不適切。別の屋根・防水工法である。

総合解説：適切。標準仕様のアスファルト防水は積層により防水層を形成する。 この問題では「アスファルト防水の構成を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0066 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：基礎

長尺金属板葺の下葺材の重ねに関する標準的な記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 上下・左右とも10mmだけ重ねる。

イ. 上下方向は100mm以上、左右（長手方向）は200mm以上重ね合わせる。

ウ. 下葺材は突き付けとし重ねを設けない。

エ. 左右の重ねは20mm以下にする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。重ね不足で漏水リスクが高い。

イ：適切。雨水の浸入を防ぐため、流れ方向・長手方向の所定重ねを確保する。

ウ：不適切。所定の重ねが必要である。

エ：不適切。標準では200mm以上である。

総合解説：適切。雨水の浸入を防ぐため、流れ方向・長手方向の所定重ねを確保する。 この問題では「長尺金属板屋根の下葺重ねを理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0067 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

防水層施工後の現場管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 完成まで資材置場として防水層上を自由に使用する。

イ. 防水層上で火花が出る作業を無養生で行う。

ウ. 機材や後続工事によって防水層を損傷しないよう、通行・資材置場・養生を管理する。

エ. 後続工事の損傷は防水施工者の責任外なので確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。損傷リスクが高い。

イ：不適切。熱・火花による損傷防止が必要である。

ウ：適切。防水層は施工後の穿孔・引きずり・落下物等で容易に損傷するため保護が必要である。

エ：不適切。全体施工管理として保護する必要がある。

総合解説：適切。防水層は施工後の穿孔・引きずり・落下物等で容易に損傷するため保護が必要である。 この問題では「防水層施工後の保護を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0068 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

合成高分子系ルーフィングシート防水などの施工で、下地管理として最も重要な考え方はどれか。

ア. 下地に砂や粉じんを残すほど接着面積が増える。

イ. 濡れた下地ほど接着剤がよく効くと考える。

ウ. 下地の不陸はシートが全て吸収するため補修不要である。

エ. 下地の乾燥、平滑性、清掃状態を確認し、接着・固定を阻害する水分や異物を除く。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。異物は接着不良の原因となる。

イ：不適切。工法・材料仕様に適した乾燥状態が必要である。

ウ：不適切。不陸や突起は損傷・浮きの原因となる。

エ：適切。防水シートの接着・固定性能は下地状態に大きく左右される。

総合解説：適切。防水シートの接着・固定性能は下地状態に大きく左右される。 この問題では「シート防水の下地状態を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0069 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

塗膜防水の施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 規定された材料使用量や工程を守り、塗りむら・ピンホール等を防いで必要な防水層厚を確保する。

イ. 色が付けば所定使用量に達していなくてもよい。

ウ. ピンホールは排水孔として有効なので残す。

エ. 立上りや入隅は平場より施工を省略する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。塗膜防水は連続した所定厚の膜を形成して性能を発揮する。

イ：不適切。必要膜厚・使用量を確保する。

ウ：不適切。漏水経路となる。

エ：不適切。取合い部ほど重点的な処理が必要である。

総合解説：適切。塗膜防水は連続した所定厚の膜を形成して性能を発揮する。 この問題では「塗膜防水の膜厚確保を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0070 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

シーリング目地で、目地底にシーリング材を接着させず側面2面で接着させるために用いるものとして、最も適切なものはどれか。

ア. 目地底にも強く接着させ三面接着を積極的に行う。

イ. ボンドブレーカー等を用いて三面接着を防止する。

ウ. 目地幅に関係なくシーリング材を極端に薄く塗る。

エ. プライマーは目地外へ広く塗って仕上げ面を汚す。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。変形追従性が低下し破断原因になり得る。

イ：適切。目地の伸縮追従性を確保するため、適切な目地では二面接着とする。

ウ：不適切。所定の断面形状を確保する。

エ：不適切。所定範囲へ適切に施工する。

総合解説：適切。目地の伸縮追従性を確保するため、適切な目地では二面接着とする。 この問題では「シーリング目地の二面接着を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0071 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

折板葺の施工に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 流れ方向に多数の継手を設けるほど防水性が高くなる。

イ. 折板はタイトフレームに固定しなくても自重で保持できる。

ウ. 折板の流れ方向には原則として継手を設けない。やむを得ない場合は所定の処置・協議等を行う。

エ. けらば部は風荷重を受けないため納まりを考慮しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。継手増加は漏水リスクを高める。

イ：不適切。所定の固定が必要である。

ウ：適切。流れ方向の継手は漏水リスクとなるため原則避ける。

エ：不適切。耐風・防水上重要な部位である。

総合解説：適切。流れ方向の継手は漏水リスクとなるため原則避ける。 この問題では「折板屋根の流れ方向継手を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0072 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：標準

粘土瓦葺の施工で、瓦の緊結方法を決める際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア. 瓦は自重だけで安定するので緊結は不要である。

イ. 棟部だけ固定し、他の瓦は全て無固定とする。

ウ. 釘やねじの材質は腐食性に関係なく選定する。

エ. 建築基準法に基づく風圧力や地震力に対応した緊結方法等を特記・仕様に従って施工する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。風圧・地震への緊結が必要である。

イ：不適切。所定の緊結方法に従う。

ウ：不適切。耐久性を考慮した材料を用いる。

エ：適切。瓦の飛散・脱落防止には地域・建物条件に応じた緊結が重要である。

総合解説：適切。瓦の飛散・脱落防止には地域・建物条件に応じた緊結が重要である。 この問題では「瓦屋根の緊結を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0073 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：応用

屋上ウレタン塗膜防水を予定しているが、下地に前日の雨水が残り、午後から降雨予報もある。最も適切な対応はどれか。

ア. 施工を見合わせ、下地乾燥と天候条件を確保してから施工する。

イ. 表面だけ拭き、内部が湿っていても直ちに塗る。

ウ. 雨が降り始めても塗膜が流れるまで施工を続ける。

エ. 水分を閉じ込めるため厚く一度塗りする。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。湿潤下地や降雨は接着・硬化不良の原因となるため、条件を整える。

イ：不適切。下地乾燥不良は膨れ・接着不良を招く。

ウ：不適切。防水品質を確保できない。

エ：不適切。膨れ等の原因となる。

総合解説：適切。湿潤下地や降雨は接着・硬化不良の原因となるため、条件を整える。 この問題では「防水施工条件の可否を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0074 仕上工事 > 防水・屋根 ｜ 難易度：応用

屋根の漏水事故を防止する施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 平場の中央だけ確認し、端部や貫通部は後続工事に任せる。

イ. 平場だけでなく、立上り、ドレン、貫通部、笠木、谷、棟、壁取合い等の納まりと連続性を重点確認する。

ウ. ドレン周辺は水が集まるため防水層を薄くする。

エ. 屋根材と防水層の取合いは設計図書に関係なく現場合わせだけで決める。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。取合い部は防水上の重点部位である。

イ：適切。漏水は取合い・端部・貫通部等の局部から生じやすく、材料単体だけでなく連続した納まりが重要である。

ウ：不適切。むしろ確実な納まりが必要である。

エ：不適切。設計・仕様に基づき整合を確認する。

総合解説：適切。漏水は取合い・端部・貫通部等の局部から生じやすく、材料単体だけでなく連続した納まりが重要である。 この問題では「屋根防水の弱点部を総合判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0075 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：基礎

屋外のタイル張りの施工後確認として、最も適切なものはどれか。

ア. 目視で色だけ確認し、打診は行わない。

イ. 未硬化の状態で強く打診する。

ウ. モルタルや接着剤の硬化後、全面にわたり打診を行う。

エ. 浮きが見つかっても報告せずそのまま仕上げる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。外観だけでは浮きを検出できない。

イ：不適切。所定の硬化後に確認する。

ウ：適切。浮き・剥離等を確認するため、屋外タイル張り等では全面打診を行う。

エ：不適切。報告し、張り直し等の措置を行う。

総合解説：適切。浮き・剥離等を確認するため、屋外タイル張り等では全面打診を行う。 この問題では「屋外タイル張りの打診確認を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0076 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：基礎

屋外壁タイル張り等の引張接着試験で、試験体の個数に関する標準仕様の原則として最も適切なものはどれか。

ア. 建物全体で1個だけ。

イ. 1,000㎡ごとに1個でよい。

ウ. 面積に関係なく必ず100個。

エ. 100㎡ごと及びその端数につき1個以上、かつ全体で3個以上。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。100㎡ごと等の基準と全体3個以上がある。

イ：不適切。標準より少ない。

ウ：不適切。そのような規定ではない。

エ：適切。一定面積ごとの代表性と全体最小数を確保する。

総合解説：適切。一定面積ごとの代表性と全体最小数を確保する。 この問題では「タイル引張接着試験の試験体数を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0077 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：基礎

左官のモルタル塗りで、仕上げ厚または全塗厚の原則として最も適切なものはどれか。

ア. 25mm以下とする。

イ. 必ず50mm以上とする。

ウ. 塗厚は制限なく厚くできる。

エ. 1mm以下でなければならない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。標準仕様では仕上げ厚または全塗厚は原則25mm以下としている。

イ：不適切。過大な塗厚は剥落等のリスクを高める。

ウ：不適切。所定の塗厚管理が必要である。

エ：不適切。標準の上限規定とは異なる。

総合解説：適切。標準仕様では仕上げ厚または全塗厚は原則25mm以下としている。 この問題では「モルタル塗りの全塗厚上限を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0078 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：標準

タイル張りの打診で浮きが発見された場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 仕上げ面がきれいなら浮きを無視する。

イ. 確認結果を監督職員に報告し、所定の方法で張り直し等の措置を行う。

ウ. 浮き部分の上から塗装して音を消す。

エ. 打診記録を削除して完成扱いとする。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。外観に関係なく接着不良は危険である。

イ：適切。浮きは剥落事故につながるため、放置せず是正する。

ウ：不適切。接着不良の補修にならない。

エ：不適切。品質不良の隠蔽となる。

総合解説：適切。浮きは剥落事故につながるため、放置せず是正する。 この問題では「タイル浮き発見時の措置を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0079 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：標準

セメントモルタルによるタイル張りの引張接着試験の合格判定として、標準仕様に合うものはどれか。

ア. 0.04N/mm^{2}以上であれば破壊状況は問わない。

イ. 接着界面破壊率が100%でも合格とする。

ウ. 引張接着強度0.4N/mm^{2}以上で、かつコンクリート下地の接着界面における破壊率が50%以下。

エ. 引張接着試験では強度を測定しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。強度も破壊状況も基準を満たす必要がある。

イ：不適切。界面破壊率には上限がある。

ウ：適切。強度値だけでなく破壊位置・破壊率も判定に用いる。

エ：不適切。接着強度を測定する試験である。

総合解説：適切。強度値だけでなく破壊位置・破壊率も判定に用いる。 この問題では「セメントモルタルタイル張りの接着強度基準を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0080 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：標準

有機系接着剤によるタイル張りの下地処理として、最も適切なものはどれか。

ア. 張付け直前に下地へ大量に散水する。

イ. 吸水調整材を必ず厚塗りする。

ウ. 粉じんを残したまま接着剤を塗る。

エ. 下地面を清掃し、十分に乾燥させ、水湿しや吸水調整材の塗布は行わない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。有機系接着剤張りでは水湿しを行わない。

イ：不適切。標準仕様では水湿し・吸水調整材塗布を行わない。

ウ：不適切。清掃が必要である。

エ：適切。有機系接着剤張りでは乾燥した清浄な下地が基本となる。

総合解説：適切。有機系接着剤張りでは乾燥した清浄な下地が基本となる。 この問題では「有機系接着剤張りの下地処理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0081 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：標準

左官用モルタルの練混ぜとして、最も適切なものはどれか。

ア. 原則として機械練りとする。

イ. 常に足で踏んで練る。

ウ. 水量を毎回目分量で大幅に変える。

エ. 硬化が始まったモルタルへ大量の水を加えて再使用する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。均一な調合と品質確保のため、標準仕様では原則機械練りとする。

イ：不適切。品質の均一性を確保しにくい。

ウ：不適切。所定の調合管理が必要である。

エ：不適切。品質低下につながる。

総合解説：適切。均一な調合と品質確保のため、標準仕様では原則機械練りとする。 この問題では「モルタルの練混ぜ方法を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0082 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：標準

コンクリート壁面へ高圧水洗処理による目荒しを行う場合の施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 水圧・時間は確認せず最大能力で施工する。

イ. 本施工に先立って試験施工を行い、目荒し状態について監督職員の承諾を受ける。

ウ. 試験施工は行わず、完成後にのみ確認する。

エ. 目荒し後にぜい弱部や粉じんを残す。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。下地を損傷するおそれがある。

イ：適切。過度・不足の目荒しを避け、適切な下地状態を確認して本施工へ反映する。

ウ：不適切。本施工前の確認が重要である。

エ：不適切。接着を阻害する。

総合解説：適切。過度・不足の目荒しを避け、適切な下地状態を確認して本施工へ反映する。 この問題では「目荒し工法の試験施工を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0083 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：応用

有機系接着剤張りを予定している内壁で、下地が洗浄直後でまだ濡れている。最も適切な対応はどれか。

ア. 濡れている方が接着剤が薄まって施工しやすいのでそのまま張る。

イ. さらに散水してから接着剤を塗る。

ウ. 下地を十分に乾燥させてから接着剤張りを行う。

エ. 粉じんをまいて水分を吸わせ、その上から張る。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。接着不良の原因となる。

イ：不適切。水湿しは行わない。

ウ：適切。有機系接着剤張りでは清掃後の下地を十分乾燥させる必要がある。

エ：不適切。下地汚染となる。

総合解説：適切。有機系接着剤張りでは清掃後の下地を十分乾燥させる必要がある。 この問題では「タイル張りの接着剤施工条件を判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0084 仕上工事 > 左官・タイル ｜ 難易度：応用

外壁のモルタル下地＋タイル仕上げで剥離事故を防止する施工管理として、最も適切なものはどれか。

ア. タイルの色だけ確認し、下地や接着強度は確認しない。

イ. 伸縮調整目地をモルタルで埋めて動かないようにする。

ウ. 打診で浮きが出ても目地材で隠して完成とする。

エ. コンクリート下地の処理、モルタルの塗厚・養生、伸縮調整目地、タイル張付け条件、打診・接着試験まで一連で管理する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。剥離は下地・接着条件に大きく左右される。

イ：不適切。目地機能を失わせる。

ウ：不適切。浮きは是正が必要である。

エ：適切。剥離防止はタイル張り工程だけでなく、躯体・下地・目地・接着・検査の連続管理が必要である。

総合解説：適切。剥離防止はタイル張り工程だけでなく、躯体・下地・目地・接着・検査の連続管理が必要である。 この問題では「外壁モルタル・タイルの剥離防止を総合判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0085 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：基礎

塗装工事の施工条件に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 気温5℃以下または湿度85%以上など乾燥に不適当な場合は、適切な採暖・換気等を行う場合を除き塗装しない。

イ. 気温や湿度は塗膜品質に影響しない。

ウ. 湿度100%の結露面ほど塗装に適する。

エ. 外部塗装は強風・降雨時ほど乾きやすいので行う。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。低温・高湿・結露は乾燥不良や塗膜欠陥の原因となる。

イ：不適切。乾燥・硬化に大きく影響する。

ウ：不適切。付着不良を招く。

エ：不適切。原則として行わない。

総合解説：適切。低温・高湿・結露は乾燥不良や塗膜欠陥の原因となる。 この問題では「塗装の気温・湿度条件を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0086 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：基礎

屋内に使用する塗料で、JIS等にホルムアルデヒド放散量の区分がある場合、特記がなければ標準仕様上の区分はどれか。

ア. ホルムアルデヒド放散等級F☆の材料を標準として選定する。

イ. 特記がない場合は、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の材料を用いる。

ウ. 等級表示がない材料のみを使用することを標準とする。

エ. 屋内用塗料でもホルムアルデヒド放散量を確認せず選定する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。特記がない場合の標準ではない。

イ：適切。特記がない場合はF☆☆☆☆とする。

ウ：不適切。JIS等で規定がある場合はF☆☆☆☆を基本とする。

エ：不適切。室内環境に関わる重要項目である。

総合解説：適切。特記がない場合はF☆☆☆☆とする。 この問題では「屋内塗料のホルムアルデヒド区分を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0087 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：基礎

ビニル床シート・ビニル床タイル用接着剤で、ホルムアルデヒド放散量の区分について特記がない場合、標準仕様上の扱いとして最も適切なものはどれか。

ア. F☆に限定する。

イ. 接着剤は室内空気に影響しないため区分不要とする。

ウ. F☆☆☆☆とする。

エ. 使用量が少なければ規格を確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。標準はF☆☆☆☆である。

イ：不適切。放散量区分の確認が必要である。

ウ：適切。内装用接着剤についても、特記がなければF☆☆☆☆とする。

エ：不適切。材料仕様を確認する。

総合解説：適切。内装用接着剤についても、特記がなければF☆☆☆☆とする。 この問題では「ビニル床材接着剤のホルムアルデヒド区分を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0088 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：標準

塗装前の素地ごしらえとして、最も適切な考え方はどれか。

ア. 錆の上から厚く塗れば下地処理は不要である。

イ. 油分を残すほど塗料の伸びが良くなる。

ウ. 素地の状態にかかわらず同じ処理だけ行う。

エ. 塗膜の付着を阻害する錆、油、汚れ、脆弱部等を除去し、下地の種類と塗料に適した状態に整える。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。錆・汚れ等は付着不良の原因となる。

イ：不適切。油は付着を阻害する。

ウ：不適切。材料・劣化状態・塗装系に応じた処理が必要である。

エ：適切。塗膜性能は素地調整の良否に大きく左右される。

総合解説：適切。塗膜性能は素地調整の良否に大きく左右される。 この問題では「塗装前の下地処理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0089 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：標準

塗装の塗り重ねに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 各工程の間隔・最終養生時間を材料・気象条件等に応じて定め、標準間隔を超えた場合は適切な処理後に塗り重ねる。

イ. 下塗りが未乾燥でも直ちに上塗りする。

ウ. 長期間放置した塗膜へ無処理で必ず上塗りできる。

エ. 工程間隔は製品仕様や気象条件に関係しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。早すぎる・遅すぎる塗り重ねはいずれも付着や仕上りに影響する。

イ：不適切。塗膜欠陥の原因となる。

ウ：不適切。必要な処理を行う。

エ：不適切。材料・環境条件に応じて管理する。

総合解説：適切。早すぎる・遅すぎる塗り重ねはいずれも付着や仕上りに影響する。 この問題では「塗り重ね工程間隔を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0090 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：標準

地下最下階や便所・洗面所など、張付け後に湿気や水の影響を受けやすい床でビニル系床材を施工する場合の接着剤選定として、最も適切な考え方はどれか。

ア. 一般床用の接着剤を場所に関係なく必ず使用する。

イ. エポキシ樹脂系やウレタン樹脂系など、湿気・水の影響を受ける箇所に適した区分を選ぶ。

ウ. 接着剤を使用せず床材を置くだけとする。

エ. 湿気が多いほど水溶性接着剤を薄めて使用する。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。水分条件に適した製品選定が必要である。

イ：適切。施工箇所の水分条件に応じて接着剤の主成分を選定する。

ウ：不適切。所定工法に応じて接着する。

エ：不適切。水の影響に適した接着剤を選ぶ。

総合解説：適切。施工箇所の水分条件に応じて接着剤の主成分を選定する。 この問題では「湿気の影響を受ける床の接着剤選定を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0091 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：標準

床材や壁紙などの内装仕上げを施工する際の下地管理として、最も適切なものはどれか。

ア. 不陸や粉じんは仕上げ材で隠れるため放置する。

イ. 湿潤下地ほど全ての接着剤に適する。

ウ. 下地の乾燥、平滑性、強度、清掃状態を確認し、仕上げ材・接着剤の仕様に適合させる。

エ. 下地強度は仕上げ材の品質と無関係である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。接着・仕上りに悪影響を与える。

イ：不適切。水分条件は材料ごとに管理する。

ウ：適切。下地不良は浮き、剥がれ、目違い、変色などの原因となる。

エ：不適切。下地剥離が仕上げ不良につながる。

総合解説：適切。下地不良は浮き、剥がれ、目違い、変色などの原因となる。 この問題では「内装下地の含水・平滑性管理を理解する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0092 仕上工事 > 塗装・内装 ｜ 難易度：応用

完成後まもなく、塗膜の剥がれと床シートの浮きが同じ湿潤区域で発生した。施工記録では高湿度・下地未乾燥のまま施工していた。最も適切な評価はどれか。

ア. 塗装と床仕上げは無関係なので共通原因はあり得ない。

イ. 表面を清掃せず上から再施工すれば根本原因は解決する。

ウ. 湿潤状態は付着を高めるため原因候補から除外する。

エ. 下地水分と施工環境が塗膜・接着剤の付着不良に共通して影響した可能性が高く、下地乾燥・材料適合・施工条件を再確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。湿気や下地状態は双方へ影響し得る。

イ：不適切。原因を除去・是正しない再施工は再発しやすい。

ウ：不適切。多くの塗装・接着施工で湿潤は不具合要因となる。

エ：適切。仕上げ不良は材料だけでなく、下地・温湿度・工程間隔・接着剤選定等の複合要因で評価する。

総合解説：適切。仕上げ不良は材料だけでなく、下地・温湿度・工程間隔・接着剤選定等の複合要因で評価する。 この問題では「塗装・内装の不具合原因を総合判断する」が中心論点である。施工順序、品質確認、不具合防止まで結び付けて整理すると実務判断にも応用できる。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0093 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：標準

建具取付け前の確認事項に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 建具を取り付ける前に、開口部の寸法・位置、下地、アンカー位置などを確認し、建具の変形や建付け不良を防ぐ。

イ. 開口寸法に差異があっても、建具枠を強制的に変形させて納めればよい。

ウ. アンカー位置は施工後に外観から決めればよく、取付け前の確認は不要である。

エ. 建具は仕上げ工事と独立しているため、周囲の防水・シーリングとの取り合いを確認しなくてよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。建具は開口部・下地との取り合いで性能が左右されるため、取付け前の確認が重要である。

イ：不適切。枠を強制変形させると建付け、気密・水密性、作動性を損なう。

ウ：不適切。固定位置は下地・構造との関係を事前に確認する。

エ：不適切。外部建具では周囲防水やシーリングとの連続性が重要である。

総合解説：適切。建具は開口部・下地との取り合いで性能が左右されるため、取付け前の確認が重要である。 この問題では「建具取付け前の確認事項を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0094 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：基礎

外部建具に要求される性能に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 外部建具は意匠だけを確認し、耐風圧性や水密性は考慮しなくてよい。

イ. 外部に面する建具では、設計図書で要求される耐風圧性・気密性・水密性などの性能を確認する。

ウ. 気密性と水密性は建具枠とは無関係で、ガラスの種類だけで決まる。

エ. 建具性能は現場で調整できるため、設計図書の性能指定を確認する必要はない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。外部建具では耐風圧性・水密性等が重要な性能項目である。

イ：適切。外部建具は風雨にさらされるため、要求性能を満たす製品と納まりを確認する。

ウ：不適切。枠・障子・シール材・取付け精度なども性能に影響する。

エ：不適切。要求性能は設計図書に基づき、製品選定・施工で確保する。

総合解説：適切。外部建具は風雨にさらされるため、要求性能を満たす製品と納まりを確認する。 この問題では「外部建具に要求される性能を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0095 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：応用

建具金物の調整と完成時確認に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 建具金物は取付け位置が合っていれば、作動確認を省略してよい。

イ. ドアクローザは閉鎖速度を最大にしておけば、使用条件に応じた調整は不要である。

ウ. 建具金物を取り付けた後は、開閉、施錠、ドアクローザ等の作動を確認し、必要に応じて調整する。

エ. 施錠装置の確認は引渡し後に利用者が行うもので、施工時の確認対象ではない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。実際の開閉・施錠・閉鎖動作を確認する。

イ：不適切。安全性や使用性を考慮して適切に調整する。

ウ：適切。建具は取付け精度だけでなく、金物を含む完成時の作動確認が必要である。

エ：不適切。施工者が完成時に機能を確認する。

総合解説：適切。建具は取付け精度だけでなく、金物を含む完成時の作動確認が必要である。 この問題では「建具金物の調整と完成時確認を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0096 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：標準

施工現場で防火戸の機能を損なわない施工を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 防火戸は扉材が不燃であれば、枠や金物を任意に変更しても性能に影響しない。

イ. 自閉式防火戸は日常利用が不便な場合、くさびで常時開放してよい。

ウ. 防火戸の建付けが悪い場合は、閉鎖しきらなくても警報設備があれば問題ない。

エ. 防火戸の周囲や金物を変更するときは、認定・設計上の防火性能や自閉・閉鎖機能を損なわないことを確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。構成部材や閉鎖機構を含む仕様が性能に関係する。

イ：不適切。必要時に確実に閉鎖できる機能を阻害してはならない。

ウ：不適切。防火戸自体が所定の閉鎖機能を果たす必要がある。

エ：適切。防火戸は扉本体だけでなく、枠、金物、閉鎖機構等を含めて所定の性能を確保する必要がある。

総合解説：適切。防火戸は扉本体だけでなく、枠、金物、閉鎖機構等を含めて所定の性能を確保する必要がある。 この問題では「防火戸の機能を損なわない施工を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0097 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：標準

ガラス用セッティングブロックの役割に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. セッティングブロックはガラスの自重を適切に支持し、ガラス端部が枠に直接接触することを防ぐよう、ガラスに適した材料・寸法のものを用いる。

イ. セッティングブロックはガラスの自重を支持しないため、材質や位置は任意でよい。

ウ. 複層ガラスでは封着材への影響を考慮せず、油分を含むゴムを使用するのがよい。

エ. ガラス端部を金属枠に密着させるほど耐久性が高くなるため、クリアランスは不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。セッティングブロックはガラスを安定して支持し、端部の損傷や不適切な荷重伝達を防ぐ。

イ：不適切。ガラス支持に関わるため適切な材質・寸法・配置が必要である。

ウ：不適切。中間膜や封着材等に悪影響を与えない材料を選ぶ。

エ：不適切。適切なクリアランスを確保し、直接接触を避ける。

総合解説：適切。セッティングブロックはガラスを安定して支持し、端部の損傷や不適切な荷重伝達を防ぐ。 この問題では「ガラス用セッティングブロックの役割を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0098 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：基礎

ガラス溝のクリアランスに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. ガラスは枠にきつく押し込むほど安全なので、エッジクリアランスはゼロとする。

イ. ガラス溝では、面クリアランス、エッジクリアランス、掛り代を設計図書や製造所仕様に従って確保する。

ウ. 掛り代はガラスの保持に関係しないため、見付け上隠れていればよい。

エ. ガラス溝の寸法は現場で決め、建具製造所の仕様を参照しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。端部接触は破損の原因となる。

イ：適切。ガラスの納まりでは、温度変化・変形・施工誤差等を吸収できる適切なクリアランスと掛り代が必要である。

ウ：不適切。ガラスを確実に保持するため所定の掛り代が必要である。

エ：不適切。特記や製造所仕様等に基づいて確認する。

総合解説：適切。ガラスの納まりでは、温度変化・変形・施工誤差等を吸収できる適切なクリアランスと掛り代が必要である。 この問題では「ガラス溝のクリアランスの意味を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0099 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：標準

合わせガラスと強化ガラスの破損性状の違いに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 合わせガラスは破損すると必ず全面が粒状に崩れ、中間膜は破片保持に寄与しない。

イ. 強化ガラスは破損しても大きな鋭い破片のまま残ることを目的としている。

ウ. 合わせガラスは中間膜により破片が脱落しにくく、強化ガラスは破損時に比較的小さな粒状の破片となる性質を利用して安全性を高める。

エ. 合わせガラスと強化ガラスは製造方法も破損性状も同一で、用途上の違いはない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。中間膜が破片を保持しやすいことが特徴である。

イ：不適切。破損時の破片を小さくする性質が安全性に寄与する。

ウ：適切。両者は安全ガラスとして用いられるが、破損後の保持性や破片性状が異なる。

エ：不適切。製造方法・破損性状・適用上の特徴が異なる。

総合解説：適切。両者は安全ガラスとして用いられるが、破損後の保持性や破片性状が異なる。 この問題では「合わせガラスと強化ガラスの破損性状の違いを理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0100 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：応用

施工現場で複層ガラスの端部保護を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 複層ガラスは内部が密閉されているため、端部封着材を傷つけても性能は変わらない。

イ. ガラス溝に水がたまる方が封着材の乾燥を防げるため、排水を考慮しない。

ウ. 複層ガラスの封着材はすべてのシーリング材と無条件に適合する。

エ. 複層ガラスの施工では、封着部を傷つけず、ガラス溝内に滞水しにくい納まりとし、封着材と相性の悪い材料の接触を避ける。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。封着部の損傷は内部への水分侵入等につながる。

イ：不適切。滞水は端部劣化の原因となり得る。

ウ：不適切。材料間の相性を確認する必要がある。

エ：適切。複層ガラスは端部封着の健全性が断熱性や内部結露防止の維持に重要である。

総合解説：適切。複層ガラスは端部封着の健全性が断熱性や内部結露防止の維持に重要である。 この問題では「複層ガラスの端部保護を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0101 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：基礎

ガラスシーリングの三面接着防止に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. ガラス周囲のシーリングでは、バックアップ材やボンドブレーカー等により適切な目地形状をつくり、不要な三面接着を避ける。

イ. シーリング材は目地底にも強固に接着させる三面接着の方が、必ず追従性が高くなる。

ウ. バックアップ材は目地幅をゼロにするために押し込む材料である。

エ. シーリング施工では被着面の清掃や乾燥状態は接着性に影響しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。シーリング材が目地の伸縮に追従できるよう、接着面と目地深さを適切に管理する。

イ：不適切。三面接着は伸縮追従性を損なう原因となる。

ウ：不適切。目地深さの調整や三面接着防止等に用いる。

エ：不適切。被着面の状態は接着性能に大きく影響する。

総合解説：適切。シーリング材が目地の伸縮に追従できるよう、接着面と目地深さを適切に管理する。 この問題では「ガラスシーリングの三面接着防止を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0102 建具・設備 > 建具・ガラス ｜ 難易度：標準

施工現場で建具周囲の防水連続性を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 高性能サッシを使用すれば、周囲の防水層やシーリングの連続性は不要である。

イ. 外部建具周囲では、躯体・防水層・水切り・シーリングの納まりを連続させ、雨水が内部へ回り込まない排水経路を確保する。

ウ. 外部建具下端は雨水を室内側へ誘導するよう逆勾配とする。

エ. 建具周囲のシーリングは仕上げ上の化粧だけを目的とし、防水性能には関係しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。周囲納まりの不連続は漏水原因となる。

イ：適切。建具単体の水密性だけでなく、周囲の防水・排水ディテール全体で漏水を防止する。

ウ：不適切。雨水を外部へ排出する納まりが基本である。

エ：不適切。外部建具では防水上重要な役割を持つ。

総合解説：適切。建具単体の水密性だけでなく、周囲の防水・排水ディテール全体で漏水を防止する。 この問題では「建具周囲の防水連続性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0103 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：標準

施工現場で設備貫通部と構造体の事前調整を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 配管が通らない場合は、現場で梁主筋を切断してから監督職員へ報告すればよい。

イ. 設備スリーブはコンクリート打込み後に自由な位置へ穿孔する方が、施工図調整を省略できる。

ウ. 梁・壁・床の設備貫通部は、構造図・設備図を照合して施工前に位置・寸法を調整し、構造部材を現場判断で切断しない。

エ. 設備図に位置が示されていれば、構造図との照合は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。構造部材を無断で切断してはならない。

イ：不適切。構造・配筋との干渉を避けるため事前調整が基本である。

ウ：適切。貫通部は構造性能と設備施工の双方に関係するため、事前調整が不可欠である。

エ：不適切。構造部材・配筋・開口補強との整合確認が必要である。

総合解説：適切。貫通部は構造性能と設備施工の双方に関係するため、事前調整が不可欠である。 この問題では「設備貫通部と構造体の事前調整を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0104 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：基礎

防火区画貫通部の処理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 防火区画の貫通部は、隙間が小さければ可燃性発泡材だけで埋めてもよい。

イ. 貫通部処理は仕上げ後に見えなくなるため、施工記録や確認は不要である。

ウ. 配管が金属製であれば、防火区画の貫通処理は一切不要である。

エ. 防火区画を配管・ダクト・ケーブル等が貫通する部分は、要求される防火性能を維持できる認定仕様等に従って適切に処理する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。要求性能を満たす適切な防火処理が必要である。

イ：不適切。隠ぺい前に仕様・施工状況を確認することが重要である。

ウ：不適切。配管材質だけで区画性能が自動的に確保されるわけではない。

エ：適切。区画貫通部は火炎・煙の拡大経路になり得るため、所定の区画性能を確保する必要がある。

総合解説：適切。区画貫通部は火炎・煙の拡大経路になり得るため、所定の区画性能を確保する必要がある。 この問題では「防火区画貫通部の処理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0105 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：応用

防水層を貫通する設備部の納まりに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 屋上や外壁で設備配管等が防水層を貫通する場合は、立上り・役物・シーリング等を含め防水層の連続性を確保する。

イ. 防水層は配管で貫通しても、配管が密着していれば追加処理は不要である。

ウ. 設備配管の位置は防水施工後に決め、完成した防水層を任意に切り開くのが標準である。

エ. 貫通部の防水処理は設備業者だけの責任なので、建築工事側は確認しなくてよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。貫通部は漏水しやすい弱点となるため、建築と設備の施工順序を調整して確実に納める。

イ：不適切。貫通部には防水上の適切な納まりが必要である。

ウ：不適切。事前調整し、防水層を損傷しない施工計画とする。

エ：不適切。取り合い部は工種間で調整・確認する必要がある。

総合解説：適切。貫通部は漏水しやすい弱点となるため、建築と設備の施工順序を調整して確実に納める。 この問題では「防水層を貫通する設備部の納まりを理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0106 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：標準

施工現場で設備基礎・アンカーの施工調整を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 機器基礎は機器搬入後に位置を決めればよく、構造床の配筋やアンカー位置を事前確認しない。

イ. 設備機器の基礎やアンカーは、機器荷重・寸法・据付位置・保守空間を確認し、コンクリート施工前に建築・設備間で位置を調整する。

ウ. アンカーボルトの位置がずれた場合は、機器側の穴を無制限に拡大して合わせる。

エ. 保守点検スペースは完成後に確保すればよく、施工図段階では考慮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。構造・設備条件を踏まえて事前に調整する。

イ：適切。基礎寸法やアンカー位置のずれは据付不能や性能低下につながるため、事前調整が重要である。

ウ：不適切。所定の固定性能を損なう可能性がある。

エ：不適切。据付時から保守空間を含めた計画が必要である。

総合解説：適切。基礎寸法やアンカー位置のずれは据付不能や性能低下につながるため、事前調整が重要である。 この問題では「設備基礎・アンカーの施工調整を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0107 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：標準

天井内設備の保守性を確保する考え方に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 点検口は意匠上目立つため、設備機器の位置に関係なく最小限にする。

イ. 点検対象が天井内にあっても、天井材を毎回破壊して点検する計画でよい。

ウ. 天井内のバルブ、ダンパ、接続部など点検・操作が必要な箇所には、仕上げや下地との位置関係を調整して必要な点検口を確保する。

エ. 点検口の位置は建築図だけで決め、設備図との照合は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。保守・点検に必要な位置と大きさを確保する。

イ：不適切。通常の点検に必要なアクセス性を確保する。

ウ：適切。完成後の保守性は施工時に確保すべき性能であり、点検対象と開口位置を整合させる。

エ：不適切。点検対象設備との整合が不可欠である。

総合解説：適切。完成後の保守性は施工時に確保すべき性能であり、点検対象と開口位置を整合させる。 この問題では「天井内設備の保守性を確保する考え方を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0108 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：基礎

施工現場で排水配管と建築仕上げの勾配調整を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 排水管はポンプで流すのが原則なので、自然流下区間でも勾配を考慮しない。

イ. 天井高さと干渉した場合は、排水管を途中で逆勾配にして納める。

ウ. 排水勾配は設備だけの条件なので、梁・床・天井との取り合いを検討しなくてよい。

エ. 床排水や横引き排水管は必要な排水勾配を確保しつつ、床レベル・梁下・天井高さ等と干渉しないよう施工図で調整する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。重力排水では所定の勾配が必要である。

イ：不適切。逆勾配は滞水・詰まりの原因となる。

ウ：不適切。建築寸法との干渉を施工前に調整する。

エ：適切。排水機能と建築寸法の両方を満たすため、早期の三次元的な取り合い確認が重要である。

総合解説：適切。排水機能と建築寸法の両方を満たすため、早期の三次元的な取り合い確認が重要である。 この問題では「排水配管と建築仕上げの勾配調整を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0109 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：応用

躯体への設備配管施工時の構造保全に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 完成した躯体に設備用の穿孔やあと施工固定を行う場合は、既存配筋や埋設物を確認し、構造上支障のない位置・方法を採用する。

イ. 穿孔径が小さければ、鉄筋探査をせずに柱・梁の任意位置へ施工してよい。

ウ. 設備固定用アンカーは構造体への影響がないため、縁端距離や既存鉄筋を考慮しない。

エ. 埋設配管を損傷しても仕上げで隠れるため、施工上の問題にはならない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。無計画な穿孔は鉄筋・PC鋼材・埋設管等を損傷するおそれがある。

イ：不適切。小径でも重要部材・埋設物を損傷する可能性がある。

ウ：不適切。母材条件と既存配筋等を確認する必要がある。

エ：不適切。漏水・漏電等の重大な不具合につながる。

総合解説：適切。無計画な穿孔は鉄筋・PC鋼材・埋設管等を損傷するおそれがある。 この問題では「躯体への設備配管施工時の構造保全を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0110 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：標準

施工現場で設備振動の伝達防止を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 防振架台を設ければ、配管を躯体へ剛結しても振動伝達には影響しない。

イ. 振動を発生する機器では、防振装置や可とう継手等の機能を妨げないよう、配管・ダクト・仕上げ材との不要な剛接触を避ける。

ウ. 機器周囲のクリアランスは振動と無関係なので、仕上げ材を密着させる。

エ. 可とう継手は配管の振動吸収を目的としないため、機器接続部には用いない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。配管等が振動伝達経路になる場合がある。

イ：適切。防振機器を設けても周辺部材が剛接触すると、振動がバイパスして建物へ伝わることがある。

ウ：不適切。接触により振動・騒音が伝わることがある。

エ：不適切。振動や変位を吸収する目的で用いられる場合がある。

総合解説：適切。防振機器を設けても周辺部材が剛接触すると、振動がバイパスして建物へ伝わることがある。 この問題では「設備振動の伝達防止を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0111 建具・設備 > 設備との取り合い ｜ 難易度：基礎

隠ぺい前の工種間検査に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 隠ぺい部分は完成後に見えないため、施工中の確認対象から除外する。

イ. 設備貫通部の防火処理は天井を閉じた後に写真だけで確認する。

ウ. 天井・壁・床で設備配管や配線が隠ぺいされる前に、関連する建築下地、防火・防水処理、支持・固定状況などを確認する。

エ. 建築下地と設備支持材が干渉しても、天井を閉じれば問題にならない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。見えなくなる前に確認することが重要である。

イ：不適切。実物を隠ぺい前に確認する。

ウ：適切。隠ぺい後に確認できない部分は閉鎖前の検査・記録が品質確保に重要である。

エ：不適切。変形・振動・仕上げ不良等につながるため調整する。

総合解説：適切。隠ぺい後に確認できない部分は閉鎖前の検査・記録が品質確保に重要である。 この問題では「隠ぺい前の工種間検査を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0112 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：標準

舗装路床の品質確保に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 路床に軟弱部があっても、厚い表層を施工すれば補えるので処理しない。

イ. 路床の締固めは路盤施工後にまとめて行う。

ウ. 路床の高さや排水勾配は舗装完成後に表層だけで調整する。

エ. 舗装の路床は、軟弱部や不適当な材料を処理し、所定の高さ・勾配・締固め状態を確保してから上層を施工する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。支持力不足は舗装全体の変形につながる。

イ：不適切。各層を適切に施工・締固める。

ウ：不適切。下層から計画高さ・勾配を確保する。

エ：適切。路床の不良は沈下やひび割れ等の舗装不具合につながる。

総合解説：適切。路床の不良は沈下やひび割れ等の舗装不具合につながる。 この問題では「舗装路床の品質確保を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0113 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：標準

路盤施工の基本に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 路盤材料は分離や泥土混入を避け、所定厚さとなるよう敷きならして十分に締め固める。

イ. 路盤材料は水分や泥土が多いほど締まりやすいため、汚染を許容する。

ウ. 厚い路盤は一度に全厚を敷き、表面だけを転圧すればよい。

エ. 路盤の不陸は表層で隠れるため、平坦性を確認しなくてよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。均一な支持力を確保するため、材料品質・層厚・締固めを管理する。

イ：不適切。泥土混入等は支持力・締固め品質を損なう。

ウ：不適切。適切な層厚で均一に締め固める必要がある。

エ：不適切。上層の厚さ・性能確保のため路盤仕上がりを確認する。

総合解説：適切。均一な支持力を確保するため、材料品質・層厚・締固めを管理する。 この問題では「路盤施工の基本を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0114 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：応用

施工現場でアスファルト舗装の施工条件を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 混合物が十分に冷えてから敷き均す方が作業員の安全性が高く、締固め品質にも有利である。

イ. アスファルト混合物は、運搬・敷均し・締固めの過程で過度に冷却させず、路盤の状態を確認して連続的に施工する。

ウ. 路盤に泥やたまり水があっても、熱い混合物で乾くためそのまま施工する。

エ. アスファルト舗装では施工継目の処理は不要で、時間を空けて自由に敷き足せる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。過度な温度低下は締固め品質を損なう。

イ：適切。温度低下や不適切な下地状態は締固め不足や接着不良につながる。

ウ：不適切。下地を適切な状態にしてから施工する。

エ：不適切。継目は弱点になりやすく適切な施工が必要である。

総合解説：適切。温度低下や不適切な下地状態は締固め不足や接着不良につながる。 この問題では「アスファルト舗装の施工条件を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0115 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：基礎

コンクリート舗装の目地の役割に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 目地はコンクリートを一体化させるため、できるだけ設けない方がひび割れを防止できる。

イ. 目地は表面の意匠だけを目的とし、温度変化や収縮とは関係しない。

ウ. コンクリート舗装の目地は、温度変化や乾燥収縮等による変形を適切に処理し、ひび割れを制御するために設ける。

エ. 目地材は舗装版と同じ剛性の材料で完全に固結させるのが原則である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。適切な目地配置がひび割れ制御に必要である。

イ：不適切。変形吸収・ひび割れ制御の機能を持つ。

ウ：適切。目地は舗装版の収縮・膨張等を計画的に処理する重要な要素である。

エ：不適切。目地の機能に応じた材料・構造とする。

総合解説：適切。目地は舗装版の収縮・膨張等を計画的に処理する重要な要素である。 この問題では「コンクリート舗装の目地の役割を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0116 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：標準

施工現場で透水性舗装の排水連続性を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 透水性舗装は表層だけが多孔質であればよく、下層の排水条件は考慮しない。

イ. 透水性を高めるため、路盤に細粒分の多い泥を混ぜて空隙を埋める。

ウ. 施工後の目詰まりは透水性能を向上させるため、維持管理上問題にならない。

エ. 透水性舗装では、表層だけでなく路盤・路床や排水先まで含めて水の通り道を確保し、目詰まりや滞水を防ぐ施工とする。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。下層を含む排水系統の連続性が必要である。

イ：不適切。目詰まりは透水性能を低下させる。

ウ：不適切。目詰まりは透水性低下の原因となる。

エ：適切。表層が透水しても下層で水が滞留すれば期待する機能を発揮できない。

総合解説：適切。表層が透水しても下層で水が滞留すれば期待する機能を発揮できない。 この問題では「透水性舗装の排水連続性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0117 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：標準

側溝・縁石の施工管理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 側溝や縁石は、通り・高さ・勾配を確認し、排水の流れを阻害する段差や逆勾配が生じないよう施工する。

イ. 側溝は水をためるほど沈砂効果が高まるので、部分的な逆勾配を設ける。

ウ. 縁石の高さは舗装完成後に打撃で調整すればよく、据付時の高さ管理は不要である。

エ. 側溝の継目に段差があっても、流量には影響しないため補修しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。外構の排水機能は微小な高さ差や勾配にも左右される。

イ：不適切。意図しない滞水を生じない勾配とする。

ウ：不適切。据付時に通り・高さを適切に管理する。

エ：不適切。流れの阻害や土砂堆積につながる。

総合解説：適切。外構の排水機能は微小な高さ差や勾配にも左右される。 この問題では「側溝・縁石の施工管理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0118 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：基礎

施工現場で屋外雨水排水の基本を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 建物周囲は基礎へ雨水を集めるため、建物に向かって下り勾配とする。

イ. 敷地内の雨水は、地盤・舗装の勾配や排水桝・側溝を連携させ、建物側へ流れ込まず計画した排水系統へ導く。

ウ. 排水桝の天端高さは周囲舗装と無関係に決め、雨水は段差を越えて流入させる。

エ. 敷地内の滞水は舗装の耐久性に影響しないため、排水計画で考慮しなくてよい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。原則として建物から離す方向へ適切に排水する。

イ：適切。外構計画では建物周囲の浸水・滞水を防ぐため、表面排水と地下排水を整合させる。

ウ：不適切。周囲仕上げと整合した高さ・勾配が必要である。

エ：不適切。滞水は利用性・耐久性・安全性に影響する。

総合解説：適切。外構計画では建物周囲の浸水・滞水を防ぐため、表面排水と地下排水を整合させる。 この問題では「屋外雨水排水の基本を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0119 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：応用

植栽工事での根鉢と植付け管理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 根鉢は細根をすべて露出させるため完全に崩してから植える。

イ. 樹木は深植えするほど倒れにくいため、根元を大きく埋め込む。

ウ. 樹木の植付けでは、根鉢を過度に崩さず、植付け高さ・向き・支柱・水極め等を適切に行い、活着を図る。

エ. 植付け直後は根腐れ防止のため、土壌と根鉢の空隙を残し水を与えない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。根系を傷めないよう適切に取り扱う。

イ：不適切。適切な植付け高さを守る。

ウ：適切。根系の保護と植付け後の安定・給水が活着に重要である。

エ：不適切。水極め等により根鉢周囲を安定させる。

総合解説：適切。根系の保護と植付け後の安定・給水が活着に重要である。 この問題では「植栽工事での根鉢と植付け管理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0120 建具・設備 > 外構・屋外工事 ｜ 難易度：標準

植栽基盤の排水性に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 植栽基盤は車路と同じ程度に強く締め固めるほど、根の生育に適する。

イ. 根腐れ防止のため、植栽基盤は保水性を完全になくす。

ウ. 植栽地に長時間滞水しても植物の生育には影響しない。

エ. 植栽基盤では、植物に必要な有効土層と排水性を確保し、長期的な滞水や極端な締固めを避ける。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。過度な締固めは通気・排水・根の伸長を阻害する。

イ：不適切。植物に応じた保水性と排水性のバランスが必要である。

ウ：不適切。長期滞水は根の障害につながる。

エ：適切。根の生育には保水性だけでなく通気・排水性も必要である。

総合解説：適切。根の生育には保水性だけでなく通気・排水性も必要である。 この問題では「植栽基盤の排水性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0121 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：基礎

改修着手前の施工調査に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 改修工事では、工事着手に先立って既存建物の状況、施工条件、利用状況等を調査し、施工計画に反映する。

イ. 改修工事は既存図面があれば現地調査を省略し、図面だけで施工計画を確定する。

ウ. 施工調査は工事完了後に実施し、次回改修の資料とするのが原則である。

エ. 既存建物の利用状況は施工方法に影響しないため、調査対象としない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。改修は既存条件の不確実性が高いため、施工前調査が品質・安全・工程管理の基礎となる。

イ：不適切。現況と図面が一致しない場合があるため施工調査が必要である。

ウ：不適切。施工計画作成のため着手前に行う。

エ：不適切。居ながら工事等では利用状況が重要な条件となる。

総合解説：適切。改修は既存条件の不確実性が高いため、施工前調査が品質・安全・工程管理の基礎となる。 この問題では「改修着手前の施工調査を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0122 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

施工数量調査と設計図書との差異対応に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 数量が増えていても、現場代理人の判断だけで設計数量へ合わせて一部を施工しない。

イ. 施工数量調査の結果が設計図書と異なる場合は、結果を報告し、監督職員と協議して施工範囲や方法を確認する。

ウ. 設計図書との差異は工期短縮のため記録せず、完成後にまとめて報告する。

エ. 数量調査は請負代金だけに関係するため、施工計画には反映しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。差異を報告・協議して適切に扱う。

イ：適切。公共建築改修工事標準仕様書では、施工数量調査の結果を報告し、設計図書と異なる場合は協議する。

ウ：不適切。施工前・施工中に適切に報告・協議する。

エ：不適切。施工範囲・工程・資材計画にも影響する。

総合解説：適切。公共建築改修工事標準仕様書では、施工数量調査の結果を報告し、設計図書と異なる場合は協議する。 この問題では「施工数量調査と設計図書との差異対応を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0123 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

施工現場で既存部分の養生と利用者安全を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 利用者がいる場合でも、作業能率を優先して工事区域と利用区域を区画しない。

イ. 既存仕上げは最終的に清掃するので、資材運搬時の養生は不要である。

ウ. 既存建物を使用しながら改修する場合は、工事区域を区画し、粉じん・騒音・落下物・搬出入動線などに対する養生と安全対策を計画する。

エ. 粉じん対策は屋外工事だけに必要で、内装撤去では考慮しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。第三者災害防止のため明確な区画・動線管理が必要である。

イ：不適切。傷・汚損を防止する養生が必要である。

ウ：適切。居ながら改修では工事品質だけでなく、利用者と既存部分の保護が重要である。

エ：不適切。内装撤去等でも粉じんの拡散防止が重要である。

総合解説：適切。居ながら改修では工事品質だけでなく、利用者と既存部分の保護が重要である。 この問題では「既存部分の養生と利用者安全を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0124 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：応用

撤去工事で残存部を損傷させない施工に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 撤去範囲の境界は作業員の判断に任せ、墨出しやマーキングを行わない。

イ. 既存部材を撤去するときは、荷重支持関係を確認せず上部から一括で落下させる。

ウ. 残存設備は後で交換できるため、撤去時の保護対象としない。

エ. 部分撤去では、残す構造体・仕上げ・設備を明確にし、必要な仮支持や切断範囲を定めて周辺を損傷させない手順で施工する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。残存部を誤って損傷しないよう範囲を明確にする。

イ：不適切。構造・安全を確認した適切な順序で撤去する。

ウ：不適切。残す設備は損傷・異物混入等から保護する。

エ：適切。改修撤去は「壊す部分」と「残す部分」の境界管理が品質上重要である。

総合解説：適切。改修撤去は「壊す部分」と「残す部分」の境界管理が品質上重要である。この問題では「撤去工事で残存部を損傷させない施工を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0125 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：基礎

防水改修における既存下地処理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 防水改修では、既存防水層や下地の浮き・脆弱部・汚れ等を調査し、採用工法に応じて撤去・補修・清掃・乾燥などの下地処理を行う。

イ. 既存防水層に浮きがあっても、新しい防水材で覆えば必ず安定するため処理しない。

ウ. 下地の水分は新設防水層の接着に影響しないため、乾燥状態を確認しない。

エ. 既存下地の清掃は防水性能と無関係なので省略する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。新設防水層の性能は既存下地の状態に大きく左右される。

イ：不適切。脆弱部や浮きは工法に応じた処置が必要である。

ウ：不適切。工法に適した下地状態を確保する必要がある。

エ：不適切。汚れ等は接着不良の原因となる。

総合解説：適切。新設防水層の性能は既存下地の状態に大きく左右される。 この問題では「防水改修における既存下地処理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0126 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

施工現場で外壁ひび割れ改修の工法選定を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. すべてのひび割れは幅や挙動に関係なく、同じ材料を表面に塗るだけでよい。

イ. 外壁のひび割れは、幅・深さ・挙動・漏水の有無・下地の状態等を調査し、樹脂注入やシール等の適切な改修方法を選定する。

ウ. 漏水しているひび割れは、美観上の問題だけなので構造・防水上の検討をしない。

エ. ひび割れ補修は仕上げ塗装後に行う方が位置を見つけやすい。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。状態に応じた工法選定が必要である。

イ：適切。ひび割れは原因と状態が異なるため、一律の工法ではなく調査結果に基づいて処置する。

ウ：不適切。漏水経路や劣化原因を確認する必要がある。

エ：不適切。下地の補修を適切に行ってから仕上げる。

総合解説：適切。ひび割れは原因と状態が異なるため、一律の工法ではなく調査結果に基づいて処置する。 この問題では「外壁ひび割れ改修の工法選定を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0127 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

タイル外壁改修の浮きへの対応に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 浮きが確認されたタイルは、剥落しない限り補修対象にしない。

イ. 打診で浮きが広範囲でも、目地を塗装すれば接着力が回復する。

ウ. タイル外壁の浮きは、調査で範囲と程度を把握し、張替え・アンカーピンニング等、下地条件に適した工法で補修する。

エ. タイル改修では下地の状態は工法選定に関係しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。剥落危険性等を評価し適切に処置する。

イ：不適切。浮きの原因部に対する補修が必要である。

ウ：適切。浮きの範囲・深さ・下地等に応じて補修方法を選定する。

エ：不適切。下地・浮き位置等が工法選定に影響する。

総合解説：適切。浮きの範囲・深さ・下地等に応じて補修方法を選定する。 この問題では「タイル外壁改修の浮きへの対応を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0128 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：基礎

建具改修のかぶせ工法の特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. かぶせ工法では既存枠を完全に撤去してから新枠を取り付ける。

イ. かぶせ工法は必ず有効開口を広げるため、開口寸法の確認は不要である。

ウ. かぶせ工法では既存枠の腐食や固定状態を確認する必要がない。

エ. 建具のかぶせ工法は、既存枠を利用して新しい枠を取り付けるため、既存枠撤去を伴う工法に比べ周囲仕上げへの影響を抑えやすい。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。それは既存枠を残すかぶせ工法の特徴と異なる。

イ：不適切。新しい枠が内側に納まり開口が小さくなる場合がある。

ウ：不適切。既存枠を利用するため健全性の確認が必要である。

エ：適切。既存枠を残すことで撤去範囲を小さくできる一方、有効開口寸法などの確認が必要である。

総合解説：適切。既存枠を残すことで撤去範囲を小さくできる一方、有効開口寸法などの確認が必要である。 この問題では「建具改修のかぶせ工法の特徴を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0129 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：応用

改修前の石綿事前調査に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 既存建築物の改修・解体で石綿含有建材が想定される場合は、関係法令に基づく事前調査等を行い、結果に応じた飛散防止措置を講じる。

イ. 建物が使用中であれば石綿含有建材は存在しないとみなし、調査を省略できる。

ウ. 石綿含有の疑いがある材料は、分析前に破砕して粉じんを発生させて確認する。

エ. 石綿の事前調査は工事完了後の記録作成時に行えばよい。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。石綿は外観だけで判断せず、法令・調査結果に基づいて適切に取り扱う必要がある。

イ：不適切。使用状況だけでは石綿含有の有無を判断できない。

ウ：不適切。適切な調査・採取方法と飛散防止が必要である。

エ：不適切。施工方法を決める前に把握する必要がある。

総合解説：適切。石綿は外観だけで判断せず、法令・調査結果に基づいて適切に取り扱う必要がある。 この問題では「改修前の石綿事前調査の重要性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0130 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

施工現場で塗装改修前の既存塗膜評価を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 既存塗膜が剥離していても、その上から厚く塗れば新塗膜が補強するため除去しない。

イ. 塗装改修では、既存塗膜の付着状態・劣化・汚れ・下地の含水状態等を確認し、脆弱部の除去や適切な下地調整を行う。

ウ. 下地が湿っているほど塗料が吸着するので、含水状態は確認しない。

エ. 旧塗膜の種類と新塗料の適合性は、色が同じなら確認不要である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。脆弱な旧塗膜は新塗膜の剥離原因になる。

イ：適切。新規塗膜の耐久性は既存塗膜と下地の健全性・適合性に依存する。

ウ：不適切。塗料・下地に適した乾燥状態が必要である。

エ：不適切。材料相性を確認する必要がある。

総合解説：適切。新規塗膜の耐久性は既存塗膜と下地の健全性・適合性に依存する。 この問題では「塗装改修前の既存塗膜評価を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0131 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：標準

施工現場で居ながら改修の工程区画を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 利用者の避難経路は通常時に使わないため、改修工区の資材置場として利用する。

イ. 騒音作業は工程短縮を優先し、施設運用時間との調整を行わない。

ウ. 施設を供用しながら改修する場合は、工区分け、作業時間、騒音・振動・粉じん、避難経路、資材搬入を総合的に調整する。

エ. 工区分けをすると工程管理が複雑になるため、利用区域も含め全館同時施工とする。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。避難経路の安全性・有効性を確保する。

イ：不適切。利用状況と作業時間を調整する。

ウ：適切。居ながら改修では施工効率だけでなく、利用者の安全・機能継続を含めた工程計画が必要である。

エ：不適切。供用条件に応じた適切な工区設定が必要である。

総合解説：適切。居ながら改修では施工効率だけでなく、利用者の安全・機能継続を含めた工程計画が必要である。 この問題では「居ながら改修の工程区画を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0132 改修・耐震 > 改修工事 ｜ 難易度：基礎

試験施工・見本施工の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 試験施工は本施工と条件が異なるため、改修工事では一切行わない。

イ. 既存下地との適合性はカタログだけで判断し、現場条件を確認しない。

ウ. 見本施工で不具合が出ても、予定工程を守るため同じ方法で全面施工する。

エ. 既存下地との適合性や仕上がりが不確かな改修工法では、必要に応じて試験施工や見本施工を行い、施工条件を確認してから本施工へ展開する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。条件確認のため有効な場合がある。

イ：不適切。既存状態に応じて現場で確認することが重要である。

ウ：不適切。結果を施工条件・工法の見直しに反映する。

エ：適切。改修では既存材料との相性や実際の仕上がりを事前に確認することが不具合低減に有効である。

総合解説：適切。改修では既存材料との相性や実際の仕上がりを事前に確認することが不具合低減に有効である。 この問題では「試験施工・見本施工の目的を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0133 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：標準

外観目視調査で把握する劣化現象に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 目視調査では、ひび割れ、浮き・剥落、錆汁、エフロレッセンス、漏水跡、変色などを位置と範囲を含めて記録する。

イ. 目視調査では写真だけを撮り、位置や範囲を図面に記録する必要はない。

ウ. 錆汁は美観上の問題だけなので、鉄筋腐食との関連を考えない。

エ. エフロレッセンスは必ず構造耐力が失われたことを示すため、直ちに部材を撤去する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。外観調査は劣化の分布と特徴を把握し、詳細調査箇所を絞り込む基本となる。

イ：不適切。後の補修設計・比較のため位置情報が重要である。

ウ：不適切。鉄筋腐食の兆候である可能性がある。

エ：不適切。原因を調査し総合的に判断する。

総合解説：適切。外観調査は劣化の分布と特徴を把握し、詳細調査箇所を絞り込む基本となる。 この問題では「外観目視調査で把握する劣化現象を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0134 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：応用

打診調査で把握できる現象に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 打診調査だけでコンクリート内部の鉄筋径と配筋位置を正確に測定できる。

イ. タイルやモルタル仕上げの打診調査は、打撃音の違いなどから浮き・剥離が疑われる範囲を把握する方法である。

ウ. 打診音は下地条件に左右されないため、どの部位でも同じ音を基準に判定する。

エ. 打診調査は仕上げを全面破壊して裏面を確認する調査である。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。配筋確認には電磁波レーダ等の別手法を用いる。

イ：適切。打診は表層仕上げ等の浮き・剥離を面的に把握する代表的な非破壊的調査である。

ウ：不適切。材料・厚さ・下地等を考慮して判断する。

エ：不適切。一般に表面から打撃して音等を評価する。

総合解説：適切。打診は表層仕上げ等の浮き・剥離を面的に把握する代表的な非破壊的調査である。 この問題では「打診調査で把握できる現象を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0135 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：基礎

ひび割れ調査の記録項目に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. ひび割れは最大幅だけを1点測定すれば、原因や挙動を十分判定できる。

イ. ひび割れ位置は補修後に消えるため、図面への記録は不要である。

ウ. ひび割れ調査では、幅だけでなく、長さ、方向、位置、貫通・漏水の有無、時間的変化などを必要に応じて記録する。

エ. 漏水の有無は防水工事だけに関係し、ひび割れ調査では確認しない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。分布・方向・変化等も重要である。

イ：不適切。補修範囲・再発確認のため記録する。

ウ：適切。ひび割れの原因や補修方法を判断するには、幅以外の情報も重要である。

エ：不適切。補修工法選定に影響する。

総合解説：適切。ひび割れの原因や補修方法を判断するには、幅以外の情報も重要である。この問題では「ひび割れ調査の記録項目を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0136 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：標準

施工現場で鉄筋腐食を疑う外観兆候を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 鉄筋腐食は内部現象なので、表面に錆汁やひび割れが現れることはない。

イ. 鉄筋に沿うひび割れは必ず乾燥収縮だけが原因であり、腐食を検討しない。

ウ. かぶりコンクリートの剥落があっても、鉄筋の断面減少を確認する必要はない。

エ. コンクリート表面に鉄筋に沿ったひび割れ、錆汁、浮き・剥離が見られる場合は、鉄筋腐食による膨張の可能性を考えて詳細調査する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。腐食が進むと表面に兆候が現れる場合がある。

イ：不適切。腐食など複数の原因を検討する。

ウ：不適切。腐食程度や断面欠損を確認する必要がある。

エ：適切。腐食生成物の膨張はかぶりコンクリートのひび割れや剥離を生じさせることがある。

総合解説：適切。腐食生成物の膨張はかぶりコンクリートのひび割れや剥離を生じさせることがある。 この問題では「鉄筋腐食を疑う外観兆候を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0137 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：標準

中性化深さの測定原理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. コンクリートの中性化深さは、採取・はつり等で得た新鮮な断面にフェノールフタレイン溶液を用い、呈色しない範囲等から測定する方法がある。

イ. フェノールフタレイン法では、中性化した部分ほど濃い赤紫色に呈色する。

ウ. 中性化深さは建物の築年数だけで決め、実測する方法はない。

エ. 表面塗装の色を見れば、中性化深さをミリ単位で測定できる。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。健全な高アルカリ部は呈色し、中性化した部分は呈色しにくい性質を利用する。

イ：不適切。一般に高アルカリの未中性化部が赤紫色に呈色する。

ウ：不適切。断面で実測する代表的な方法がある。

エ：不適切。新鮮なコンクリート断面等で測定する。

総合解説：適切。健全な高アルカリ部は呈色し、中性化した部分は呈色しにくい性質を利用する。 この問題では「中性化深さの測定原理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0138 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：応用

塩化物イオン量の調査方法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 塩化物イオン量は錆汁の色の濃さだけで正確に定量できる。

イ. 塩化物イオンによる鉄筋腐食の可能性を評価する場合は、必要な位置・深さから試料を採取し、塩化物イオン量を分析する。

ウ. 海岸から離れた建物では塩化物を含む可能性がゼロなので、調査対象にしない。

エ. 塩化物調査は表面1か所だけで行えば、部材全体の深さ方向分布が分かる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。化学的な分析等が必要である。

イ：適切。塩化物量は外観だけで定量できないため、試料採取と分析が必要となる。

ウ：不適切。材料由来・凍結防止剤等の要因もあり得る。

エ：不適切。必要に応じ位置・深さを分けて評価する。

総合解説：適切。塩化物量は外観だけで定量できないため、試料採取と分析が必要となる。 この問題では「塩化物イオン量の調査方法を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0139 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：基礎

引張接着試験の目的に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 引張接着試験はコンクリート内部の鉄筋位置を調べる試験である。

イ. 試験値が同じなら破壊位置は評価に関係しない。

ウ. 仕上材や補修材の引張接着試験は、下地との接着状態や破壊位置を確認し、付着性能を評価するために用いる。

エ. 接着強度は目視だけで正確に数値化できるため、試験は不要である。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。主に仕上材等の付着性能を評価する。

イ：不適切。界面・下地・材料内のどこで破壊したかは重要な情報である。

ウ：適切。測定値だけでなく、どこで破壊したかも材料・下地の状態判断に有用である。

エ：不適切。必要に応じ実測試験を行う。

総合解説：適切。測定値だけでなく、どこで破壊したかも材料・下地の状態判断に有用である。 この問題では「引張接着試験の目的を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0140 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：標準

施工現場で下地含水状態の確認意義を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 下地水分は仕上材で完全に封じ込めれば必ず問題にならない。

イ. 含水状態は目視で表面が乾いていれば十分で、必要に応じた測定は無意味である。

ウ. 床仕上げ材の接着は下地水分と無関係なので、改修前に確認しない。

エ. 塗装・防水・床仕上げ等の改修前に下地の含水状態を確認することは、膨れ・剥離・接着不良のリスク評価に有効である。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。膨れや剥離等の原因となることがある。

イ：不適切。内部水分が残っている場合がある。

ウ：不適切。材料によっては重要な施工条件である。

エ：適切。水分は仕上材の接着・硬化・水蒸気圧等に影響するため、工法に応じた確認が必要である。

総合解説：適切。水分は仕上材の接着・硬化・水蒸気圧等に影響するため、工法に応じた確認が必要である。 この問題では「下地含水状態の確認意義を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0141 改修・耐震 > 劣化調査 ｜ 難易度：標準

施工現場で劣化調査記録の再現性を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 劣化調査結果は、図面上の位置、写真、測定値、調査方法、日付等を対応させて記録し、補修設計や将来の比較に利用できるようにする。

イ. 調査担当者が覚えていれば、図面や写真との位置対応を記録する必要はない。

ウ. 測定値は平均値だけ残し、測定位置やばらつきを記録しない。

エ. 補修完了後は劣化調査記録を廃棄し、次回調査ではゼロから評価する。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。調査結果は第三者が同じ部位を特定できる形で残すと、補修数量や経年変化の検証に活用できる。

イ：不適切。後工程や将来点検で再現できる記録が必要である。

ウ：不適切。位置・個別値等が原因分析や範囲設定に重要である。

エ：不適切。維持管理・再劣化評価の基礎資料として有用である。

総合解説：適切。調査結果は第三者が同じ部位を特定できる形で残すと、補修数量や経年変化の検証に活用できる。 この問題では「劣化調査記録の再現性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0142 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：基礎

耐震補強工事と耐震診断・設計の関係に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 耐震補強は部材を多く追加するほどよいため、診断や設計を行わず現場判断で施工する。

イ. 耐震補強工事は、既存建物の耐震診断・補強設計に基づき、必要な耐力・靭性・荷重伝達を確保するよう施工する。

ウ. 補強部材自体が強ければ、既存躯体との接合部は耐力を負担しない。

エ. 耐震補強は仕上げ工事の一種なので、構造耐力や荷重伝達を考慮しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。診断・設計に基づいて必要性能を確保する。

イ：適切。補強部材を追加するだけでなく、既存架構との一体性や力の流れを確保することが重要である。

ウ：不適切。接合部を通じて力を伝達する必要がある。

エ：不適切。構造性能を改善する工事である。

総合解説：適切。補強部材を追加するだけでなく、既存架構との一体性や力の流れを確保することが重要である。 この問題では「耐震補強工事と耐震診断・設計の関係を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0143 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：応用

あと施工アンカー孔の清掃に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 孔内の粉じんは接着材と混ざると強度が増すため、清掃せず施工する。

イ. 接着系アンカーは接着材だけで性能が決まるため、穿孔径や深さは確認しない。

ウ. 接着系あと施工アンカーでは、穿孔後に孔内の切粉・粉じんを所定の方法で除去し、接着性能を確保してからアンカーを施工する。

エ. アンカー挿入後に孔内清掃を行えば、同じ効果が得られる。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。粉じんは接着性能を阻害する。

イ：不適切。孔径・深さ・清掃・施工条件等が性能に影響する。

ウ：適切。孔内清掃不良は接着材と母材の付着を阻害し、アンカー性能低下の原因となる。

エ：不適切。清掃は接着材・アンカー施工前に行う。

総合解説：適切。孔内清掃不良は接着材と母材の付着を阻害し、アンカー性能低下の原因となる。 この問題では「あと施工アンカー孔の清掃の重要性を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0144 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：標準

施工現場であと施工アンカー位置と既存鉄筋の干渉防止を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. アンカーは補強部材なので、既存主筋を切断してでも設計位置へ必ず穿孔する。

イ. 既存図面に配筋が記載されていれば、現場での探査や確認は一切不要である。

ウ. 鉄筋に当たった場合は、アンカー孔を大きくして鉄筋ごと削り取る。

エ. あと施工アンカーの穿孔前には、必要に応じて既存鉄筋等を探査し、設計条件を満たしつつ鉄筋を損傷しない位置を確認する。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。既存鉄筋を損傷しない施工計画が必要である。

イ：不適切。既存建物では実位置との差異も考慮して必要に応じ確認する。

ウ：不適切。構造部材を損傷させず、適切な対応を協議する。

エ：適切。既存鉄筋の切断は構造性能を損なうため、施工前の探査と位置調整が重要である。

総合解説：適切。既存鉄筋の切断は構造性能を損なうため、施工前の探査と位置調整が重要である。 この問題では「あと施工アンカー位置と既存鉄筋の干渉防止を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0145 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：基礎

施工現場で増設RC壁と既存躯体の一体化を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 現場打ちRC増設壁では、既存躯体との接合部について、あと施工アンカー、鉄筋、目荒し、充填性等を設計・仕様どおり確保し、力を確実に伝達させる。

イ. 新設壁のコンクリート強度だけが十分なら、既存柱・梁との接合は不要である。

ウ. 既存コンクリート表面は平滑なほど新旧コンクリートが一体化するので、目荒しを避ける。

エ. あと施工アンカーの定着は壁の仕上げにだけ関係し、構造性能には影響しない。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。増設壁の耐力を発揮させるには、既存架構との接合部が重要である。

イ：不適切。既存架構へ力を伝える接合が必要である。

ウ：不適切。工法に応じて適切な表面処理・目荒しを行う。

エ：不適切。接合部の構造性能に直接関係する。

総合解説：適切。増設壁の耐力を発揮させるには、既存架構との接合部が重要である。 この問題では「増設RC壁と既存躯体の一体化を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0146 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：標準

鉄骨ブレース補強の荷重伝達に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 鉄骨ブレースは枠内で自立していれば、既存RC架構との接合を行わなくても耐震補強になる。

イ. 枠付き鉄骨ブレース補強では、ブレースから鉄骨枠、接合部、既存柱・梁へ地震力が伝わるよう、アンカーやグラウト等を含む接合部を確実に施工する。

ウ. グラウト部に空隙があっても、ブレース鋼材が強ければ荷重伝達に影響しない。

エ. 鉄骨ブレースの建方精度は仕上げだけに影響し、接合部性能には関係しない。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。地震力を既存架構との間で伝達する接合が必要である。

イ：適切。ブレース本体だけでなく、既存架構との境界部が補強効果を左右する。

ウ：不適切。接合部の充填性は力の伝達に重要である。

エ：不適切。位置・クリアランス・接合精度が施工品質に影響する。

総合解説：適切。ブレース本体だけでなく、既存架構との境界部が補強効果を左右する。 この問題では「鉄骨ブレース補強の荷重伝達を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0147 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：標準

施工現場で連続繊維補強の下地処理を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 連続繊維シートは接着剤で貼るため、下地の欠損や突起を残したまま施工する。

イ. 繊維方向は補強性能に関係しないため、端材を任意方向に貼り合わせる。

ウ. 柱の連続繊維シート補強では、コンクリート表面の脆弱部・突起を除去し、欠損や不陸を補修して、シートが所定方向に密着できる下地をつくる。

エ. シート下に空気が残るほど変形を吸収できるため、密着させない。

答え・解説 **正答：ウ**

ア：不適切。下地不良は浮き・損傷・付着不良につながる。

イ：不適切。設計で定める繊維方向・積層を守る必要がある。

ウ：適切。連続繊維補強は下地への付着と繊維方向が性能発揮に重要である。

エ：不適切。所定の付着・含浸状態を確保する。

総合解説：適切。連続繊維補強は下地への付着と繊維方向が性能発揮に重要である。 この問題では「連続繊維補強の下地処理を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0148 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：応用

耐震スリットの機能と施工上の注意に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 耐震スリットは壁と柱をより強く一体化するため、無収縮モルタルで完全に充填する。

イ. 耐震スリットは仕上げ目地と同じで、構造挙動には影響しない。

ウ. スリット部は隙間を空けるだけでよく、防火や止水等の要求性能は考慮しない。

エ. 耐震スリットは、壁と柱等の拘束を意図的に切り離して構造挙動を改善するもので、設計された隙間の機能を硬質材料で不用意に塞がない。

答え・解説 **正答：エ**

ア：不適切。構造的な分離機能を損なう。

イ：不適切。柱・壁の拘束関係を変える構造的な役割がある。

ウ：不適切。部位に応じ他の要求性能も確保する。

エ：適切。スリット部は構造的な変位を許容しつつ、防火・遮音・止水等の必要性能も適切な材料で確保する。

総合解説：適切。スリット部は構造的な変位を許容しつつ、防火・遮音・止水等の必要性能も適切な材料で確保する。 この問題では「耐震スリットの機能と施工上の注意を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

0149 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：基礎

耐震補強施工中の既存躯体健全性確認に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア. 耐震補強の施工中に既存コンクリートの著しい劣化や設計図書と異なる配筋等が判明した場合は、記録・報告し、補強設計への影響を確認して対応を協議する。

イ. 既存躯体が想定より劣化していても、補強部材を予定どおり付ければよいので報告しない。

ウ. 配筋が図面と異なる場合は、現場で鉄筋を切断して図面どおりに作り直す。

エ. 耐震補強では既存躯体の状態は設計時点で固定されるため、施工中の確認は不要である。

答え・解説 **正答：ア**

ア：適切。既存建物では施工時に新たな情報が得られるため、設計前提と異なる場合は適切な再確認が必要である。

イ：不適切。接合部や既存部材の性能に影響する可能性がある。

ウ：不適切。構造上の影響を確認し、適切に協議する。

エ：不適切。施工時確認とフィードバックが重要である。

総合解説：適切。既存建物では施工時に新たな情報が得られるため、設計前提と異なる場合は適切な再確認が必要である。 この問題では「耐震補強施工中の既存躯体健全性確認を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

0150 改修・耐震 > 耐震補強 ｜ 難易度：標準

施工現場で耐震補強工事の品質記録を検討する場合の対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 補強工事は完成後の外観が整っていれば、アンカー埋込みやグラウト充填の記録は不要である。

イ. あと施工アンカー、グラウト、溶接、補強コンクリート、連続繊維等は、隠ぺい前の検査結果や施工条件を記録し、設計・施工仕様への適合を確認する。

ウ. 品質記録は不具合が生じた場合だけ作成し、正常施工では残さない。

エ. 耐震補強の接合部は仕上げで隠れるため、隠ぺい前検査を省略できる。

答え・解説 **正答：イ**

ア：不適切。隠ぺい部の品質を確認できる記録が必要である。

イ：適切。耐震補強は完成後に確認しにくい接合部が多いため、工程ごとの検査・記録が重要である。

ウ：不適切。正常施工でも所定の検査・記録を残す。

エ：不適切。むしろ隠ぺい前の確認が重要である。

総合解説：適切。耐震補強は完成後に確認しにくい接合部が多いため、工程ごとの検査・記録が重要である。 この問題では「耐震補強工事の品質記録を理解する」が中心論点である。施工条件と不具合防止の関係まで整理して理解すると、現場判断問題にも対応しやすい。

対象：2026年度 / 法令・制度基準日 2026-01-01

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/